

# 統計茨城

昭和44年 4.5 月号

## 目次 CONTENTS

I 統計ろんだん	1	III 科学技術情報の将来	5
II 指 標		IV 本県金融の推移と動向 (その2)	7
主標経済指標	2	V 1970年世界農林業センサスの実施計 画と問題点	21
人 口	4	VI 学校基本調査の概要	23
金 融	6		
農 業	8		
鉱 工 業	9		
労 働	10		
物 価	12		
家 計	13		

## 利用上の注意 Note for Users

1. 本書中の数値は原則として単位未満は四捨五入。
2. 年度は4月から3月まで。
3. 記号
  - 零または該当数字のないもの、
  - 0 該当数字が掲載単位未満のもの。
  - … 不詳のもの。
  - P 暫定数字。
  - r 訂正数字。
  - △ 減少または支払を示す。
  - × 統計保護のため掲載をひかえたもの



# 統計ろんだん



## 統計の普及と利用について

私が企画調整係を担当して9ヶ月になる。それまで、各種の統計調査の実施等について、いろいろ経験もし、勉強にも心がけたつもりだった。しかし、そこに中核となるものは、なんといつでもどうしたら統計事務を円滑に推進できるかという問題であろう。事業の計画設計にしろ分類、整理にしても、どうしたら最も迅速に調査票を蒐集できるだろうかということに精力がむけられ勝ちである。したがって調査結果の効率的な利用面について話し合いは必ずしも充分とは言えなかつたし、たまたま1つの問題点が提示されないかぎり、それ等について真剣にとり組めない有様で、このことは反面、統計調査の実施という問題が、そうした余裕を与えないほど困難性を帯びているのかもしれない。

しかし、この問題にしても、統計課として全く無関係に放置しておくわけにもいかない。庁内各課はもちろん、民間企業の統計資料の需要は日に増大し、来訪者、あるいは照会電話等が絶えたことがないのである。資料の蒐集については幸い行政資料室の活用をお願いするわけであるが、各面の利用の方法、資料の有無、加工の方法等、係員はその応接にいとまがない現状である。したがって、こうした面の充実と相俟つて、統計の普及振興についても充分認識を新たにすることがあろう。

課内の統計協会では毎年小・中・高校の児童及び一般人を対象に統計グラフの募集を夏期に行なっている。世の中のいろいろな出来ごとをわかりやすく表現する1つの手段としてのグラフ作成を通して“統計的なものの見方、考え方”を勉強してもらおうというわけである。いわゆる統計教育活動の1面である。

統計教育推進体系としては県教委指導課の指導主事をおして各学校の教科のなかで“統計教育”の浸透を図るわけであるが、昭和44年度は関東ブロック各地のこうした現場の先生方の研究成果の発表が白帆荘において行なわれることになつている。

県内の各小・中学校の教室でも、毎日の学習過程のな

かで静かにこの問題についての研究が行なわれているのである。すなわち、ある目的を設定し、必要な統計資料を蒐集し、それをわかり易く分類、整理し、その資料から推論、判断の道を発見しようとする試みを学習のなかで、どのようにとりあげていつたらよいかということである。

私たち、統計関係者にとつて本当に心強い運動といえるわけであるが、こうした小・中学生を対象とした運動以外に東京都及び神奈川県では家庭婦人層を対象に統計の普及に努力している。43年度に埼玉県でもこの問題に取り組み“物価と景気動向”と題しての講話、座談会が婦人層を対象に計画され、好評を博したという。

この他にもP・T・A活動の中にとり入れるとか、家庭と縁の深い物価問題をひつさげてこうした統計の普及に乗り出した先進県の業績を他山の石として傍観してはいられないのである。今年度は、こうした分野の開発にまい進したいものである。

昭和44年度から45年にかけて、統計関係者にとつてはまことに多忙な年でもある。統計調査の円滑な推進は勿論大切なことであるが、大きな労力と時間、費用等を費して得た数値の利用についても充分考慮しなければならないであろうし、44年度の事業所調査、1970年世界農林業センサス、45年の国調等、いずれも周期的大調査の実施年でもあるので、過去の統計資料を総括的に整理するのに便利な時期でもある。したがって、各市町村においても要覧等の編集にとりかかる段階に入るところもあるだろうし、こうして、地域住民をおして統計資料に親しんでもらうことが、統計の円滑な推進力の母体でもあるのではなからうか。

いずれにしろ、統計という事業は個人の労力では達成でき得ない代物であり、多くの集団の汗の蓄積によつて花開くものであるから、今後とも各界の御協力を期待したいものである。

(県統計課横須賀弘)

1 主要經濟指標

# 主 要 經

## Key

茨 城 県

年 月	財政資金 対民間収 支尻	銀行 勘 定		銀行券	手形交換高		不 渡 手 形		株 式	県 民 所 得	
		預 金	貸 出 金	増 減	枚 数	金 額	枚 数	金 額	取 引 高	分配所得	個人支出
昭和35年	百万円	百万円	百万円	百万円	千枚	百万円	枚	百万円	百万円	百万円	百万円
36	15,581	75,617	51,718	2,937	198	70,264	2,493	180	33,319	190,036	150,658
37	14,468	94,148	67,838	2,687	230	75,303	2,535	152	48,336	227,341	165,153
38	23,402	115,285	83,675	1,625	274	88,699	4,808	279	60,230	262,695	184,695
39	△25,800	141,041	102,665	△998	311	101,448	5,974	319	40,999	291,117	208,928
40	△32,758	165,627	112,699	△5,614	355	142,640	8,828	796	19,485	323,856	229,828
41	△37,458	185,609	8,595	△6,228	380	147,872	10,404	847	34,770	356,751	259,164
42	△42,214	217,545	123,688	△179	436	163,444	9,901	835	46,590	※383,100	※295,954
43.1	△54,001	266,236	146,606	40	484	197,977	8,318	873	40,313	412,209	291,773
2	4,818	259,677	144,852	△8,329	42	18,216	960	127	1,705	※440,407	※337,489
3	2,554	259,377	145,009	△1,036	41	15,469	946	93	2,713	※534,109	※385,515
4	△2,547	271,293	147,758	2,106	40	18,418	581	80	4,454	—	—
5	△5,425	274,483	145,016	△153	45	21,086	1,192	133	7,308	—	—
6	2,324	273,453	146,222	△2,135	44	17,488	826	88	10,017	—	—
7	△4,227	277,274	151,298	2,510	42	17,030	419	45	6,272	—	—
8	△5,883	279,599	151,216	△1,352	49	19,243	1,098	108	8,637	—	—
9	11,160	279,881	151,419	△2,391	44	17,750	784	84	7,792	—	—
10	△13,961	293,680	157,378	581	42	18,360	784	67	9,832	—	—
11	△15,874	294,301	156,657	2,164	44	20,817	776	78	7,320	—	—
12	△16,879	305,642	159,911	1,596	43	19,092	799	106	6,508	—	—
44.1	△2,353	311,421	166,962	10,956	57	23,832	707	112	5,757	—	—
2	6,519	305,650	166,147	△10,499	41	20,899	694	79	7,777	—	—
3	3,318	307,160	168,064	362	42	17,861	708	75	5,339	—	—
4	△2,989	318,734	174,937	4,108	45	20,681	723	83	7,299	—	—
	—	320,901	170,875	—	—	—	—	—	—	—	—

※は新推計による。

全 国

年 月	財政資金 対民間 収支尻	全国銀行主要勘定		全国銀行貸出	銀行券	手形交換高		不 渡 手 形	
		預 金	貸 出 金	約定平均金利	発行高	枚 数	金 額	枚 数	金 額
昭和35年	億円	億円	億円	日歩銭(%)	億円	千枚	億円	千円	億円
36	△51	888,722	81,826	2.239(8.17)	12,341	203,728	669,673	2,172	1,852
37	4,909	103,324	97,701	2.191(8.00)	14,801	221,016	862,205	2,121	2,084
38	△2,033	121,187	114,946	2.250(8.21)	17,459	242,368	1,016,246	2,525	2,805
39	△614	156,481	145,626	2.133(7.79)	20,574	265,933	1,189,982	2,878	3,492
40	△4,392	178,462	168,297	2.164(7.90)	22,988	290,466	1,431,042	3,726	5,271
41	△2,662	206,531	192,175	2.137(7.80)	25,638	302,975	1,510,970	4,077	5,574
42	2,220	237,900	220,460	2.049(7.48)	29,135	327,352	1,646,702	3,830	5,540
43.1	752	266,671	253,230	2.004(7.31)	34,115	346,690	1,885,942	3,746	6,435
2	5,280	256,924	252,756	2.025(7.39)	29,419	28,248	169,955	309	547
3	2,306	257,885	254,570	2.042(7.45)	29,562	28,505	161,895	324	593
4	△1,252	270,378	259,062	2.053(7.49)	31,057	28,045	175,068	283	594
5	△1,894	267,590	258,243	2.059(7.52)	31,473	30,812	197,235	382	813
6	744	271,335	260,282	2.060(7.52)	29,828	30,820	178,881	339	727
7	222	273,645	263,552	2.061(7.52)	32,481	29,634	167,785	250	535
8	941	275,017	266,488	2.060(7.52)	32,277	33,175	202,854	371	729
9	2,816	275,686	268,686	2.051(7.49)	31,550	30,115	189,186	301	598
10	△2,039	287,724	272,014	2.036(7.43)	31,935	29,144	191,581	298	596
11	△2,938	282,907	273,784	2.027(7.40)	31,744	30,545	198,154	314	589
12	△6,155	290,943	277,586	2.022(7.38)	32,674	30,065	188,175	291	521
44.1	△1,967	301,123	290,328	2.021(7.38)	40,419	38,904	232,215	285	525
2	6,133	299,998	290,625	2.018(7.37)	34,188	25,825	184,645	233	384
3	2,355	310,372	293,010	2.017(7.36)	35,072	28,846	182,878	249	435
	...	...	...	...	...	...	...	...	...

注) ○印は会計年度

# 經濟指標

## Statistics

年月	百貨店 売上高	鉱工業 生産指数 (総合)	建築着工		賃金指数	雇用指数	消費者 物価指数 (水戸・総 合・平均)	労働市場		
			工事費 額	床面積				新規求職 人	新規求人	失業保険被 保険者総数
昭和35年	百万円		千円	m <sup>2</sup>						
1	—	66.9	11,169,680	910,191	66.1	68.4	—	—	—	—
36	2,975	84.7	12,669,633	10,036,549	70.5	86.2	—	40,616	64,919	191,435
37	3,354	84.4	16,089,121	1,149,383	74.9	100.0	—	46,273	46,079	198,261
38	3,770	92.3	20,244,396	1,297,261	83.1	103.6	88.7	43,615	51,423	203,670
39	4,341	97.0	22,550,772	1,419,231	90.1	103.9	91.5	43,724	55,018	223,904
40	4,799	100.0	27,632,474	1,581,326	100.0	100.0	100.0	42,433	42,684	224,096
41	5,472	110.8	31,318,999	1,746,158	113.3	93.5	104.4	41,509	54,048	230,225
42	—	135.8	49,094,168	2,522,788	130.3	94.2	107.9	41,518	70,569	241,722
43.1	571	r125.1	3,242,024	165,777	130.3	102.9	111.9	3,787	5,789	240,859
2	556	r130.3	6,227,130	277,932	109.6	102.2	113.2	3,394	5,521	238,969
3	828	r146.2	5,688,293	265,285	116.2	100.9	113.3	3,545	4,972	242,288
4	686	150.6	5,727,404	253,976	113.0	103.1	114.3	3,815	5,816	247,815
5	543	157.2	8,408,925	346,704	123.7	100.7	115.0	3,662	6,460	248,659
6	674	161.8	5,205,656	256,392	227.5	102.2	113.7	3,100	4,982	250,806
7	801	146.6	5,407,037	243,346	176.2	104.6	114.0	3,394	5,452	251,625
8	571	146.3	6,415,146	269,688	133.7	104.1	115.4	3,246	7,035	251,372
9	640	r148.7	6,909,320	321,474	129.3	104.2	117.8	3,394	7,490	250,973
10	665	146.8	8,234,986	332,882	126.7	104.3	116.8	3,261	6,352	250,773
11	709	171.7	8,451,280	352,765	129.2	106.2	116.7	3,212	4,829	252,610
12	1,442	161.2	8,280,864	302,853	340.6	108.1	116.9	2,363	3,633	254,759
44.1	733	147.8	百万円 5,053	千m <sup>2</sup> 222	130.9	107.6	118.7	3,836	6,548	254,224
2	952	168.4	6,040	264	127.0	107.2	119.0	3,419	5,559	254,539
3	964	176.4	6,882	329	133.7	107.9	120.0	3,842	5,949	256,718
4	—	—	—	—	—	—	—	3,332	7,325	263,344

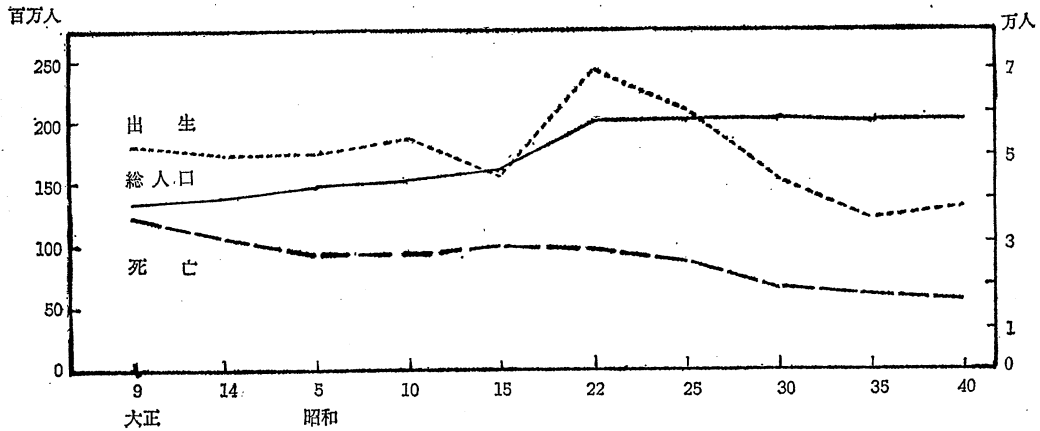
年月	国民所得		百貨店 売上高	鉱工業 生産指数 (総合)	建築着工		賃金指数 (名目・ 製造業)	雇用指数 (常用・ 製造業)	消費者 物価指数 (東京区 部)	失業保険被 保険者総 数		
	純生産	個人消費 支出			工事費 額	床面積						
昭和35年	10億円	10億円	億円		億円	千m <sup>2</sup>				千人		
1	—	—	4,075	57.8	8,089	61,461	61.8	74.3	74.0	12,385		
36	—	—	5,006	69.0	12,077	76,872	68.9	83.5	77.9	13,872		
37	—	—	5,818	74.7	13,822	76,645	75.4	89.5	83.0	15,264		
38	※19,981	※13,615	6,788	83.3	16,259	86,835	83.2	93.1	89.6	16,235		
39	※22,580	※15,510	7,701	96.4	22,602	102,663	92.0	97.8	93.3	17,349		
40	※25,014	※17,539	8,602	100.0	22,558	102,300	100.0	100.0	100.0	18,035		
41	※29,249	※19,790	9,563	113.2	24,642	109,737	111.6	100.4	104.8	18,614		
42	※34,594	※22,606	11,047	135.2	33,282	137,398	126.7	102.5	109.1	19,337		
43.1	7,908	5,621	736	138.4	2,867	11,101	109.7	102.7	113.3	19,277		
2			752	148.3	2,951	11,331	107.2	102.4	113.8	19,223		
3			1,057	160.0	2,995	11,851	109.3	103.5	114.2	19,276		
4			947	152.0	3,544	13,777	111.9	r107.4	114.4	19,758		
5			868	154.4	3,525	13,427	115.7	r106.8	115.0	20,056		
6			931	158.6	3,604	13,785	174.4	r106.5	113.4	20,268		
7			1,311	160.9	3,532	13,170	213.4	r106.4	114.1	20,396		
8			896	154.6	3,681	13,703	127.2	r105.7	113.9	20,316		
9			867	165.4	3,890	14,679	118.9	r105.7	118.3	20,290		
10			1,073	168.7	3,810	14,075	119.8	r105.5	117.3	20,276		
11			...	...	1,069	172.5	4,129	15,024	125.0	r106.2	117.6	20,309
12			...	...	2,333	176.2	4,356	14,547	326.7	r106.4	116.9	20,064
44.1	...	...	844	p168.1	...	...	123.3	p105.7	117.6	...		
2			...	...	...	...	...	...	117.9	...		
3			...	...	...	...	...	...	...	...		

※は年度数値

3 人 口

1 人 口

図 総人口と自然動態の推移 (茨城)



1-1 人口、世帯および人口動態

年 月 日	世帯数	人 口			人 口 移 動				
		総 数	男	女	増減数	自 然 動 態		社 会 動 態	
						出 生	死 亡	転 入	転 出
大正 9年10月 1日	世帯 269,860 人 1,350,400	1,350,400	662,128	688,272	—	52,291	35,960	—	—
〃 14. 10. 1	276,120	1,409,092	693,837	715,255	△38,225	50,937	31,034	△58,128	
昭和 5. 10. 1	279,895	1,487,097	734,059	753,038	△31,427	50,445	27,308	△54,564	
〃 10. 10. 1	286,471	1,548,991	766,423	782,568	23,811	53,532	27,274	△2,447	
〃 15. 10. 1	287,677	1,620,000	801,914	818,086	26,260	45,148	29,101	9,853	
〃 22. 10. 1	376,758	2,013,735	974,289	1,039,446	72,902	69,164	28,475	32,213	
〃 25. 10. 1	375,861	2,039,418	933,694	1,045,724	△20,643	60,325	24,784	56,184	
〃 30. 10. 1	382,315	2,064,037	1,006,093	1,057,944	6,315	44,592	18,732	△19,545	
〃 35. 10. 1	409,465	2,047,024	1,000,184	1,046,840	251	35,664	17,709	△17,704	
〃 40. 10. 1	447,871	2,056,154	1,007,852	1,048,302	14,816	38,357	16,888	90,715	105,531
〃 44. 3. 1	474,781	2,096,228	1,030,460	1,065,768	2,056	3,036	1,536	7,823	7,267
〃 44. 4. 1	475,528	2,098,272	1,031,718	1,066,554	△5,022	3,165	1,748	13,597	20,036

資料：県統計課

1-2 市町村別人口

(単位：人)

年月	昭和35年 10月	40年10月	43年 3月	44年3月	年月	昭和35年 10月	40年10月	43年 3月	44年3月
市町村名					市町村名				
水戸市	139,389	154,983	163,704	168,054	水海道市	37,577	36,584	35,985	36,230
日立市	161,226	179,703	184,216	187,159	常陸太田市	38,541	36,974	36,560	36,437
土浦市	71,474	78,971	84,051	86,169	勝田市	43,286	52,625	58,139	60,747
古河市	42,474	50,202	52,496	53,418	高萩市	32,816	32,497	31,886	30,303
石岡市	34,758	36,789	37,855	38,324	北茨城市	60,507	55,334	52,472	50,811
下館市	51,287	51,717	52,880	53,413	笠間市	32,143	31,082	30,673	30,440
結城市	38,060	38,078	38,449	38,859	東茨城郡	<b>134,192</b>	<b>128,687</b>	<b>128,622</b>	<b>129,058</b>
竜ヶ崎市	33,581	34,917	36,117	36,659	常澄村	9,850	9,393	9,184	9,082
那珂湊市	34,522	33,620	33,562	33,639	茨城町	30,845	29,439	29,110	29,233
下妻市	30,011	28,260	27,662	27,537					

年月 市町村名	昭和35年 10月	40年10月	43年 3月	44年3月	年月 市町村名	昭和35年 10月	40年10月	43年 3月	44年3月
小川町	15,762	15,447	16,303	17,335	阿見町	22,326	23,390	23,948	23,792
美野里町	14,680	14,381	14,735	14,920	牛久町	16,131	17,203	17,872	18,300
内原町	12,921	12,695	12,661	12,568	荃崎村	6,338	6,253	6,383	6,366
常北町	11,832	11,154	11,198	11,290	新利根村	9,489	8,943	8,767	8,679
桂村	8,785	7,938	7,621	7,443	河内村	13,065	12,158	11,689	11,596
御前山村	7,227	6,425	6,036	5,922	桜川村	8,900	8,178	8,029	7,884
大洗町	22,290	21,815	21,774	21,265	東村	14,121	13,280	12,839	12,713
西茨城郡	<b>59,662</b>	<b>58,685</b>	<b>58,745</b>	<b>58,865</b>	新治郡	<b>83,382</b>	<b>79,312</b>	<b>78,183</b>	<b>78,034</b>
友部町	19,007	19,714	20,051	20,274	出島村	18,260	16,861	16,528	16,288
岩間町	13,656	13,719	13,705	13,808	玉里村	5,233	5,080	5,077	5,192
七会村	4,029	3,469	3,328	3,198	八郷町	30,670	28,741	27,188	26,945
岩瀬町	22,970	21,783	21,661	21,585	千代田村	11,620	11,451	12,085	12,293
那珂郡	<b>105,533</b>	<b>103,571</b>	<b>103,692</b>	<b>105,136</b>	新治村	8,400	8,240	8,330	8,302
東海村	13,978	16,565	17,928	18,260	桜村	9,199	8,939	8,975	9,014
那珂町	30,556	30,006	30,454	30,875	筑波郡	<b>89,642</b>	<b>84,937</b>	<b>84,031</b>	<b>84,026</b>
瓜連町	6,988	6,832	6,772	6,835	谷田部町	20,570	20,093	20,120	20,119
大宮町	24,594	23,635	23,320	24,430	伊奈村	12,010	11,241	11,110	11,001
山方町	13,016	11,805	11,239	11,039	谷和原村	10,746	10,062	9,768	9,844
美和村	8,364	7,515	7,211	7,254	豊里町	11,165	10,497	10,274	10,259
緒川村	8,037	7,213	6,768	6,443	筑波町	23,817	22,091	21,909	21,980
久慈郡	<b>74,230</b>	<b>67,875</b>	<b>65,033</b>	<b>64,480</b>	大穂町	11,334	10,953	10,850	10,825
金砂郷村	14,748	13,554	12,821	13,017	真壁郡	<b>76,660</b>	<b>73,394</b>	<b>72,800</b>	<b>73,055</b>
水府村	11,636	10,580	9,965	9,825	関城町	14,979	14,368	14,256	14,220
里美村	7,668	6,980	6,716	6,553	明野町	17,513	16,682	16,093	16,183
大子町	40,178	36,761	35,531	35,085	真壁町	21,959	20,809	20,854	20,832
多賀郡	<b>11,006</b>	<b>10,346</b>	<b>9,957</b>	<b>10,413</b>	大和村	8,064	7,522	7,388	7,463
十王町	11,006	10,346	9,957	10,413	協和町	14,145	14,016	14,209	14,357
鹿島郡	<b>118,457</b>	<b>113,010</b>	<b>112,939</b>	<b>116,572</b>	結城郡	<b>52,189</b>	<b>49,080</b>	<b>48,467</b>	<b>48,257</b>
旭村	11,747	10,759	10,467	10,447	八千代村	24,438	22,687	22,439	22,279
鉾田町	28,687	26,939	27,034	27,973	千代川村	8,447	7,912	7,824	7,844
大洋村	10,212	9,331	8,785	8,708	石下町	19,304	18,481	18,204	18,134
大野村	10,679	9,779	9,424	9,329	猿島郡	<b>119,892</b>	<b>117,272</b>	<b>117,628</b>	<b>119,001</b>
鹿島町	16,132	16,305	17,132	19,157	総和町	20,703	21,023	21,378	22,092
神栖村	16,326	15,820	15,963	16,526	五霞村	9,157	8,668	8,351	8,628
波崎町	24,704	24,077	24,134	24,432	三和町	19,269	18,380	18,362	18,435
行方郡	<b>72,016</b>	<b>68,169</b>	<b>66,844</b>	<b>66,708</b>	猿島町	14,810	14,053	13,635	13,594
麻生町	20,182	18,852	18,264	18,112	岩井町	33,366	33,459	33,574	33,815
牛堀町	6,796	6,466	6,381	6,378	境町	22,587	21,689	22,328	22,437
潮来町	17,671	17,111	17,112	17,260	北相馬郡	<b>55,916</b>	<b>59,398</b>	<b>64,358</b>	<b>67,016</b>
北浦村	12,401	11,611	11,299	11,162	守谷町	11,449	11,475	11,682	11,782
玉造町	14,966	14,129	13,788	13,796	取手町	22,582	26,179	29,548	31,518
稻敷郡	<b>112,565</b>	<b>110,082</b>	<b>109,915</b>	<b>109,452</b>	藤代町	12,606	13,002	14,503	15,217
江戸崎町	13,017	12,266	11,836	11,824	利根町	9,279	8,742	8,625	8,499
美浦村	9,178	8,411	8,252	8,298					

資料：県統計課

2 金 融

図 金融機関預金残高 (茨城)

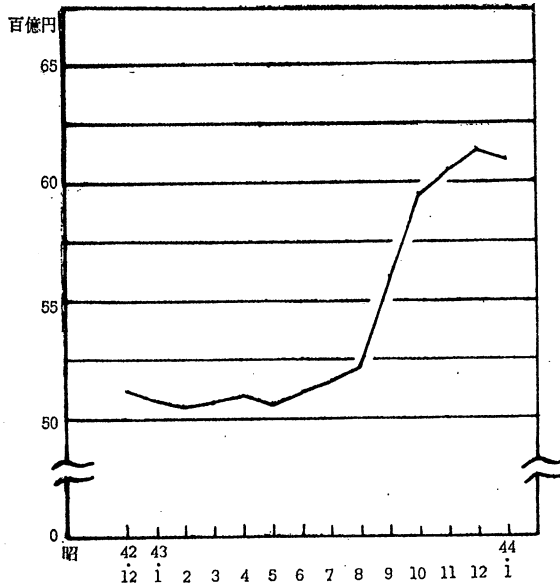
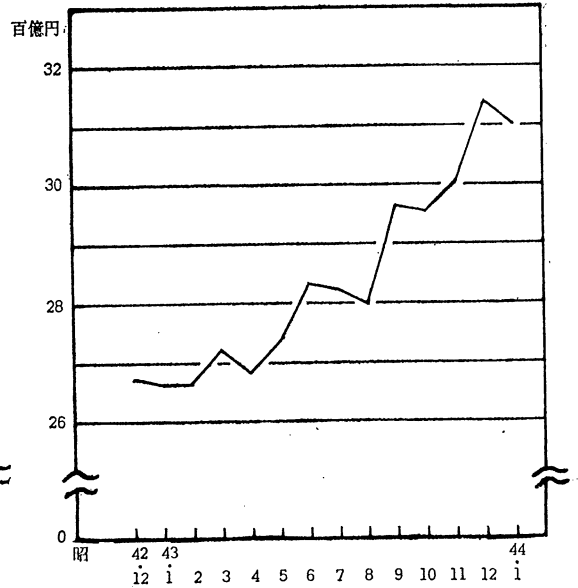


図 金融機関貸出金残高 (茨城)



2-2 金 融 機 関 預 金

年 月	総 額				銀 行		相 互 銀 行		信 用 金 庫	
	預 金	対前年 同月比	貸 出 金	対前年 同月比	預 金	貸 出 金	預 金	貸 出 金	預 金	貸 出 金
昭和41年12月	419,678	—%	272,774	—%	214,900	122,899	33,408	24,311	29,528	21,613
42・12	528,462	124.2	267,314	124.1	263,868	145,822	40,777	29,314	37,278	28,129
43・1月末	516,444	124.4	266,088	121.3	255,752	144,103	39,318	29,212	36,375	28,314
2	511,526	124.0	265,181	120.9	255,535	144,247	39,337	28,939	36,389	28,793
3	513,964	124.1	272,337	124.9	259,312	146,998	40,885	29,876	37,570	29,507
4	520,598	124.1	268,464	119.1	270,453	144,231	40,024	29,817	36,996	30,114
5	519,172	—	273,921	—	269,566	145,443	40,654	30,481	37,300	30,558
6	528,607	122.1	283,023	116.6	273,551	150,531	42,065	31,302	38,259	31,412
7	537,837	122.1	282,213	119.0	274,794	150,446	42,243	31,816	38,456	31,958
8	545,376	121.5	280,374	115.3	275,323	148,017	42,768	30,580	39,209	32,728
9	571,579	121.7	296,789	125.7	289,820	156,120	44,936	33,955	39,737	32,977
10	590,862	122.7	295,786	126.2	290,473	155,811	44,728	33,176	39,615	32,578
11	611,157	121.5	302,499	126.4	300,805	158,675	45,957	34,415	41,268	34,179
12	638,897	125.2	314,075	120.5	308,167	166,079	50,166	36,091	44,047	32,435
44年 1月	621,638	123.3	310,087	121.6	300,197	165,329	48,796	35,947	43,491	32,041

資料： 大蔵省水戸財務部

2-1 業種別貸出先数および貸出残高 (茨城) (単位:百万円)

業 種 別	40年3月		41年3月		42年3月		43年3月		43年9月	
	貸出先数	金額	貸出先数	金額	貸出先数	金額	貸出先数	金額	貸出先数	金額
合計	36,375	114,351	39,406	120,393	44,200	126,230	49,636	146,887	54,274	156,299
製造業	5,413	56,255	5,725	57,764	5,736	54,176	5,960	60,322	6,093	64,842
食料品	1,583	7,557	1,549	8,153	1,489	9,218	1,448	10,407	1,423	9,786
繊維品	576	4,225	575	4,346	595	3,621	631	4,148	647	5,904
木材・木製品	1,007	3,271	1,080	3,062	1,099	3,692	1,111	4,626	1,124	4,997
化学工業	88	5,956	89	6,566	80	5,842	77	6,167	82	6,661
非鉄金属	19	3,792	35	4,237	20	4,372	38	4,629	29	4,965
電気機械器具	332	13,196	396	12,939	370	9,251	10,196	10,196	417	11,132
輸送用機械器具	53	4,327	69	4,739	65	4,943	5,727	5,727	73	5,728
農業	9,527	2,213	9,800	2,228	11,027	2,956	12,641	3,557	14,868	4,217
林業	40	113	35	82	44	87	44	131	50	150
漁業, 水産養殖業	176	1,475	176	1,582	191	1,373	215	1,753	234	1,958
鉱業	142	3,622	132	3,831	135	2,873	122	3,047	123	3,177
建設業	927	3,765	1,179	3,676	1,323	4,344	1,714	5,561	1,790	5,756
卸売小売業	11,029	27,278	11,406	30,130	12,557	36,939	12,886	44,069	12,936	46,230
卸売	2,110	15,228	2,172	17,094	2,267	20,536	2,169	22,906	2,226	23,278
小売	8,919	12,050	9,234	13,036	10,290	16,403	10,717	21,163	10,710	22,952
金融・保険業	47	2,143	48	1,544	46	1,303	51	1,118	54	1,283
不動産業	105	4,538	134	5,684	150	5,496	210	6,859	233	5,998
運輸通信業	420	3,007	504	2,537	497	2,229	555	2,366	580	2,434
電気, ガス, 水道業	4	159	6	235	6	158	8	314	10	277
サービス業	2,240	6,620	2,518	7,008	2,899	8,199	3,466	9,960	3,729	10,505
その他	6,305	3,163	7,743	4,092	9,589	6,097	11,764	7,830	13,574	9,472

資料: 日本銀行

・ 貸出残高 (茨城) (単位:百万円)

年 月	信用組合		農 協		農林中金・商工中金		労働金庫		郵便局
	預 金	貸出金	預 金	貸出金	預 金	貸出金	預 金	貸出金	
昭和41年12月	19,911	17,494	42,232	15,259	18,055	9,362	2,865	1,786	59,822
42・12	26,444	22,101	54,485	18,292	22,421	10,669	3,697	2,296	73,602
43・1	24,196	21,300	57,576	19,388	23,049	10,409	3,698	2,214	75,782
2	24,227	21,774	54,290	19,328	21,101	10,479	3,747	2,231	76,107
3	26,570	22,799	51,183	20,023	16,875	10,756	3,716	2,160	76,284
4	24,892	22,372	48,724	21,284	16,928	11,390	3,666	2,185	77,150
5	25,395	22,658	46,751	22,504	15,742	12,494	3,654	2,194	77,617
6	26,119	22,742	45,414	23,793	15,575	13,804	3,902	2,246	79,646
7	24,461	23,307	45,638	24,696	17,316	10,714	4,016	2,320	81,974
8	26,740	23,324	50,657	25,385	18,515	10,908	4,088	2,317	83,935
9	28,419	24,165	55,071	25,411	21,665	11,115	4,057	2,360	83,488
10	27,862	24,049	63,744	24,749	30,325	11,306	4,052	2,470	85,315
11	28,520	24,515	67,183	23,715	32,203	11,351	4,161	2,599	86,353
12	32,120	26,142	72,884	25,533	31,124	11,909	4,554	2,776	91,318
44年1月	29,830	25,087	67,389	24,935	28,913	11,665	4,561	2,735	93,883



7 農 業

3 農 業

3-1 農産物の平均販売価格(茨城)

(単位:円)

年 月	うるち米 (玄米60kg)	小 麦 (玄麦3等 程度60kg)	はれいしよ (男爵10kg)	だいこん (葉付10kg)	生 乳 (飲用10kg)	鶏 卵 (10kg)	肉 豚 (生体10kg)	乳用牛 (めす・生 後4月~6 月ホルス タイン純 種)
昭和40	6,460	2,042	233	196	385	1,935	2,199	45,615
41	6,350	2,124	266	207	407	1,896	1,910	57,777
42年 7月	6,445	2,964	204	215	476	1,573	1,950	59,000
8	6,377	2,833	211	233	477	1,841	2,238	59,500
9	6,582	2,500	218	261	—	1,986	2,414	61,000
10	7,155	2,100	277	344	—	1,996	2,470	61,000
11	7,282	2,067	228	229	—	1,992	2,425	61,875
12	7,264	2,067	240	159	—	2,189	2,324	62,875
43年 1	7,255	2,067	250	172	—	2,176	2,243	66,125
2	7,236	2,150	282	176	—	2,355	2,169	66,125
3	7,236	2,150	284	174	—	2,214	2,144	66,125
4	7,633	2,100	—	—	483	1,699	2,238	74,333
5	7,467	—	—	—	480	1,710	2,452	76,500
6	7,400	—	150	—	479	1,504	2,573	76,500
7	7,167	3,090	165	—	478	1,710	2,796	74,333
8	7,100	3,080	150	—	478	1,516	2,794	74,333
9	7,500	3,170	—	—	484	2,049	3,034	74,333
10	7,567	2,640	—	225	486	1,792	3,091	72,000
11	7,667	2,427	—	130	489	1,957	3,146	73,666
12	7,667	2,393	—	95	491	2,002	2,929	71,067
44年 1	7,783	2,393	—	—	493	1,605	2,803	69,733
2	7,850	2,393	—	—	494	1,677	2,588	68,000
3	8,083	2,393	—	—	498	2,152	2,539	68,000
4	8,350	2,400	—	—	486	1,671	2,571	64,667
5	8,350	2,400	—	—	484	1,451	2,757	63,333
6	8,450	2,400	375	—	490	1,527	3,022	63,333

資料:農林省茨城統計調査事務所 (注)昭和43年以後の価格は、それぞれの代表生産地における価格である。

3-2 農 業 用 品 の 購 入 価 格 (茨城)

(単位:円)

年 月	乳用牛 (成畜めす ホルスタ イン純種)	子 豚 (めす、生 後50~70 日中ヨー クシヤー)	硫 安 (N21%か ます40kg)	過りん酸 石 灰 (かます40 kg可溶性 りん酸17 %)	複合肥料 (N8%.P 8%.K5 %30kg)	配合飼料 (成鶏用20 kg粗たん 白15%以 上)	配合飼料 (乳牛用30 kg粗たん 白13%以 上)	バラチ オン剤 (46.6又は 46.7%乳 剤 単位 100cc)
昭和40年	152,701	5,446	800	561	907(40kg)	797	1,028	191
41	171,375	3,904	801	572	710	802	1,024	188
42年 7月	201,000	3,818	802	591	626	803	1,011	185
8	202,250	4,109	792	595	621	802	1,015	185
9	203,500	4,900	788	591	623	797	1,015	173
10	205,375	5,382	777	585	614	797	1,015	173
11	206,625	5,800	776	584	613	798	1,015	173
12	216,625	5,927	774	582	612	797	1,015	173
43年 1	218,500	5,527	768	580	613	794	1,015	173
2	219,125	5,382	768	580	613	791	1,015	173
3	219,125	5,391	770	586	615	787	1,009	173
4	247,500	5,700	758	593	625	793	1,078	190
5	250,000	6,300	780	595	671	793	1,078	193
6	255,000	6,500	780	595	671	793	1,078	193
7	255,000	7,500	780	593	690	793	1,078	193
8	255,000	7,500	780	593	670	793	1,078	193
9	255,000	7,500	765	590	667	793	1,078	193
10	251,250	7,800	765	590	667	785	1,078	190
11	251,250	8,300	768	591	670	778	1,078	190
12	246,250	8,600	748	582	666	778	1,078	190
44年 1	247,500	8,400	748	582	666	778	1,178	190
2	247,500	8,200	748	579	615	778	1,078	190
3	246,250	8,200	745	579	615	778	1,078	190
4	233,750	10,000	760	560	615	760	1,070	200
5	228,750	10,325	760	560	615	760	1,070	200
6	233,750	11,250	746	585	618	794	1,072	220

資料:農林省茨城統計調査事務所 (注)昭和43年4月以後の価格は農業地域代表市町村の価格である。  
昭和43年4月以後子豚の価格はランドレース(F、ランドレース系)60~90日程度の価格である。

4 鋳工業

4-1 茨城県鋳工業生産指数（基本指数）

（昭和40年=100）

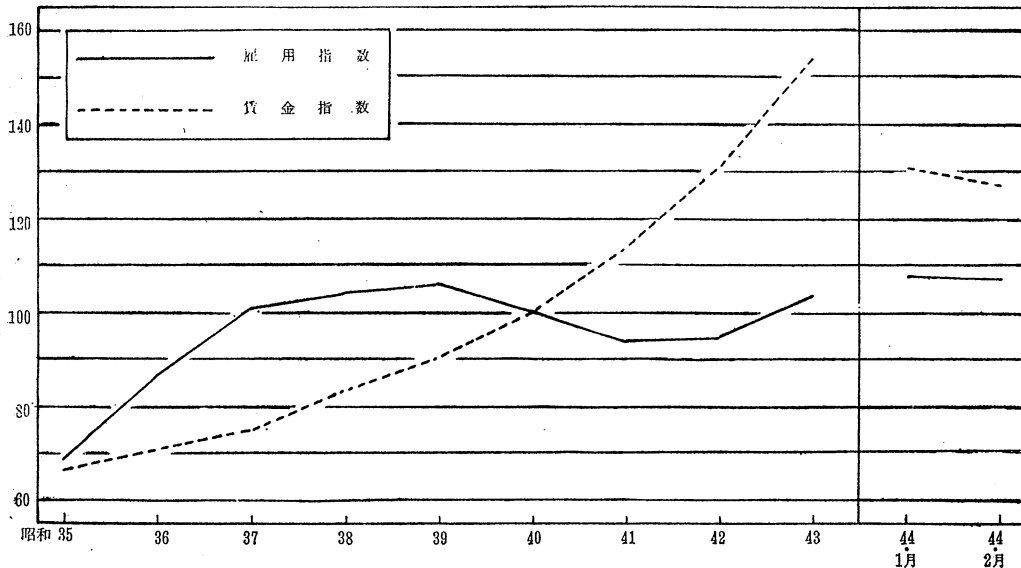
項目	産業総合	公益事業	鋳工業	鋳工業							
				鋳業	石炭・亜炭鋳業	金属工業	非金属工業	製造工業	鉄鋼業	非鉄金属工業	金属製品工業
品目数	129	2	127	10	1	5	4	117	4	7	5
ウェイト	100.0	0.39	99.61	5.48	56.59	28.34	15.07	94.52	1.72	7.31	3.27
昭和35年	67.0	92.6	66.8	87.2	91.0	87.6	54.9	64.9	62.6	52.5	—
36	84.7	89.7	84.6	89.8	92.6	90.9	66.0	84.2	80.4	73.6	—
37	84.5	90.0	84.4	90.3	90.2	98.6	68.6	83.9	80.4	56.6	—
38	92.3	77.9	91.6	92.2	92.6	99.8	76.7	91.5	83.8	72.8	—
39	97.0	95.3	97.1	99.0	95.6	100.4	111.2	92.5	106.8	101.3	—
40	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
41	110.8	266.9	110.2	101.2	107.0	104.2	73.7	110.7	117.1	107.7	157.6
42	135.8	617.7	133.9	98.9	99.5	100.6	93.8	135.9	133.9	130.5	173.2
43	149.4	427.8	147.5	92.1	86.7	96.7	103.6	150.8	138.2	134.3	130.7
44.1	147.8	710.7	145.6	91.9	87.1	97.1	100.7	148.7	113.8	146.5	133.3
2	168.4	725.2	166.3	93.4	86.0	103.9	101.5	170.5	138.5	162.8	217.4
3	176.4	815.1	173.9	99.4	92.5	103.1	118.8	178.2	134.2	158.1	206.2
4	168.4	708.2	150.4	101.5	95.9	103.1	119.7	153.3	125.9	148.8	270.4
前月比	95.5	115.1	115.6	97.9	96.5	100.0	100.8	86.0	93.8	94.1	131.1
前年同月比	121.9	106.9	110.6	110.2	110.6	102.9	123.3	110.6	97.5	106.2	233.5

製 造 工 業												
機 械 工 業				窯業土石	化学工業	石油石炭	皮革工業	パルプ・紙・紙加工品工業	繊維工業	食料品	煙草	その他
一般機械	電気機械	輸送機械	精密機械	製品工業		製品工業						
15	24	5	5	4	11	1	2	3	12	9	1	8
8.48	38.91	2.04	2.69	4.69	2.72	0.18	0.48	1.26	10.55	3.89	1.83	6.80
51.0	71.9	26.0	9.3	85.1	93.3	13.0	37.5	51.2	77.6	75.1	—	43.1
79.4	103.4	50.4	14.5	85.4	99.8	12.5	44.2	61.7	110.4	79.6	—	56.1
74.3	101.9	56.0	60.7	84.1	84.7	12.2	64.6	76.6	128.2	89.4	—	49.2
86.3	104.4	69.5	99.0	85.7	88.0	100.4	82.7	83.0	137.1	92.2	113.7	70.0
101.0	102.2	80.7	120.9	91.8	92.8	97.3	93.1	99.4	110.1	96.4	92.4	75.7
100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
105.7	110.3	115.2	108.0	102.1	116.5	93.5	85.8	127.5	98.3	106.9	112.0	115.9
132.3	137.5	147.4	106.0	111.0	121.6	74.7	64.7	144.3	106.3	131.1	191.6	136.4
149.4	176.8	193.6	78.2	124.8	135.2	91.1	71.9	160.8	139.6	149.1	222.8	121.3
169.1	174.4	186.0	72.0	101.4	143.5	102.5	64.8	164.5	124.7	212.1	—	120.0
162.5	194.3	219.2	67.9	134.8	151.7	67.5	56.0	170.7	128.0	201.3	—	110.2
198.9	182.1	225.6	73.1	140.8	157.5	67.0	69.5	183.5	170.3	234.2	—	157.7
236.7	139.1	216.7	73.0	121.9	154.8	65.4	72.8	180.8	171.3	176.7	—	143.9
119.0	76.4	96.1	99.9	86.6	98.3	97.6	104.7	98.5	100.6	75.4	—	91.2
180.3	88.3	116.5	93.2	96.3	128.7	104.0	116.5	114.7	121.7	136.8	—	108.8

資料：県統計課

5 勞 働

図 産業別雇用・賃金指数の推移 (茨城) (昭和40年=100)



5-2 産 業 別 雇 用

年 月	総 合		鉱 業		建 設 業		製 造 業			
	雇 用	賃 金	雇 用	賃 金	雇 用	賃 金	雇 用	賃 金		
	対前年(月)比較	対前年(月)比較								
基準年次実数	155,584	—	32,542	—	12,196	37,797	6,047	30,625	103,093	29,999
昭和 35 年	68.4	...	66.1	...	93.0	60.4	88.9	53.7	60.4	68.2
36	86.2	17.8	70.5	4.4	92.3	66.8	114.7	62.9	82.0	74.6
37	100.6	13.4	74.9	4.4	93.3	71.5	114.6	66.5	101.6	77.3
38	103.6	3.0	83.1	8.2	92.2	83.4	117.9	77.0	102.9	85.4
39	105.9	2.3	90.1	7.0	96.8	91.3	112.9	91.5	105.7	90.2
40	100.0	△5.9	100.0	9.9	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
41	93.5	△6.5	113.3	13.3	105.8	107.3	84.3	98.9	93.9	116.2
42	94.2	0.7	130.3	17.0	97.2	119.4	71.7	123.1	98.7	136.1
43	103.6	9.4	154.7	24.4	87.2	139.0	78.2	145.0	112.9	164.0
43. 1月	102.9	8.7	130.3	—	94.2	100.7	116.3	94.6	109.2	146.6
2	102.2	△0.7	109.6	△20.7	92.0	106.8	118.1	85.7	108.4	116.9
3	100.9	△1.3	116.2	6.6	92.9	110.2	77.8	108.2	108.5	117.0
4	103.1	2.2	113.0	△2.8	86.9	107.1	65.6	113.0	112.5	119.4
5	100.7	△2.4	123.7	10.7	85.4	111.6	58.6	118.4	109.6	134.1
6	102.2	1.5	227.5	103.8	85.3	173.1	57.4	238.2	111.9	249.8
7	104.6	2.4	176.2	△51.3	85.2	132.3	68.2	141.5	114.7	185.2
8	104.1	△0.5	133.7	△42.5	84.5	172.3	67.2	140.8	114.3	137.0
9	104.2	0.1	129.3	△4.4	83.7	118.9	65.5	136.3	114.7	135.1
10	104.3	0.1	126.7	△2.6	83.3	122.7	65.1	133.8	115.3	133.7
11	106.2	1.9	129.2	2.5	86.1	129.9	87.7	127.6	116.5	137.2
12	108.1	1.9	340.6	211.4	86.9	282.7	90.6	301.8	119.3	355.8
44. 1	107.6	△0.5	130.9	△209.5	86.6	118.7	92.5	112.9	118.7	140.5
2	107.2	△0.4	127.0	△3.9	85.8	125.7	93.3	112.0	118.1	135.0
3	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...

資料：県統計課

注) 規模30人以上の事業所

5-1 労働時間

(単位：1人1カ月当たり)

年 月	全産業	前月(年) 比 較	鉱 業	建設業	製造業	卸 売 小売業	金融・ 保険業	運輸・ 通信業	電気・ ガス・ 水道業	所定内労働時間	
										全産業	製造業
昭和35年	191.5	...	185.6	188.9	195.6	190.9	175.6	186.9	160.4	167.2	165.9
36	190.0	△1.5	184.9	182.1	192.7	189.7	180.4	190.2	159.2	166.1	164.5
37	—	...	—	—	—	—	—	—	—	—	—
38	—	...	—	—	—	—	—	—	—	—	—
39	193.5	...	199.8	181.2	191.3	192.6	180.1	197.8	178.5	174.9	172.8
40	186.4	△7.1	199.2	174.2	180.7	197.4	166.2	192.1	174.0	172.0	168.0
41	187.2	0.8	201.0	165.7	175.4	195.4	151.8	190.3	166.6	170.7	164.3
42	191.7	4.5	193.8	161.1	196.3	191.6	169.6	194.2	176.0	171.1	174.6
43	194.1	2.4	195.8	172.4	196.5	190.2	165.4	197.0	171.1	171.2	172.5
43.1月	175.8	△18.3	181.0	150.3	175.9	175.6	159.1	189.0	159.3	155.6	155.3
2	195.1	19.3	195.2	142.7	200.7	185.6	157.9	198.7	168.4	171.7	175.5
3	191.3	△3.8	198.2	141.0	194.9	182.5	161.4	208.8	167.4	168.0	170.2
4	199.6	8.3	192.1	160.6	204.3	195.6	163.0	197.5	173.3	176.9	180.2
5	185.2	△14.4	190.7	181.7	183.9	179.6	167.9	195.9	172.8	163.5	162.2
6	205.3	20.1	198.8	179.3	210.3	197.0	164.8	200.3	170.3	182.5	186.0
7	198.7	△6.6	203.7	198.1	199.7	196.2	179.2	198.7	182.3	176.1	175.7
8	187.0	△11.7	185.9	171.0	186.2	188.5	170.7	199.0	172.7	164.8	163.3
9	200.7	13.7	198.1	177.5	204.9	195.1	163.7	195.0	167.1	177.3	180.1
10	188.0	△12.7	199.5	184.2	187.8	187.8	163.5	192.4	175.6	164.6	163.1
11	204.1	16.1	205.3	182.5	208.5	196.5	166.5	195.0	173.0	180.5	183.6
12	198.2	△5.9	200.5	173.4	201.2	202.1	167.4	193.9	170.4	173.5	174.9
44.1	170.7	△17.5	171.0	127.8	168.0	185.0	155.1	188.3	154.6	149.3	146.6
2	194.5	23.8	202.4	151.3	199.4	186.4	153.0	191.6	158.9	170.3	173.7
3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

資料：県統計課

注) 規模30人以上の事業所

賃 金 指 数 (茨城)

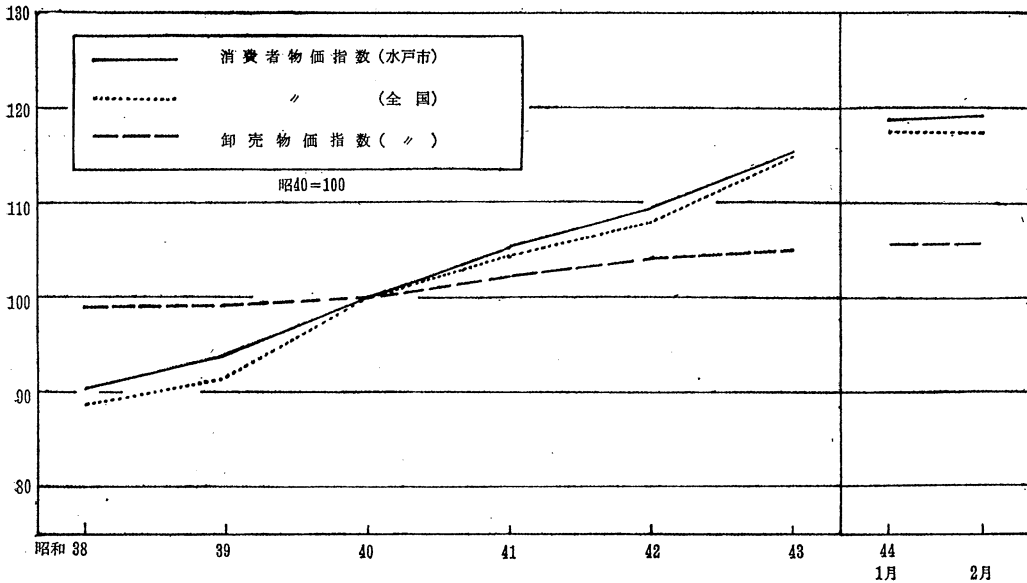
(昭和40年=100)

年 月	卸 売・小 売 業		金 融・保 險 業		運 輸・通 信 業		電 気・ガ ス・水 道 業	
	雇 用	賃 金	雇 用	賃 金	雇 用	賃 金	雇 用	賃 金
基準年次実数	7,426	29,061	5,112	41,419	19,012	40,528	1,943	55,638
昭 和 35	96.2	53.9	74.8	57.1	75.7	60.3	92.9	62.4
36	109.7	57.0	84.0	61.1	89.5	66.7	88.7	67.6
37	111.5	60.7	86.9	72.4	99.8	77.4	82.8	72.1
38	110.0	59.9	92.9	79.4	117.3	83.5	76.4	72.1
39	108.7	87.9	103.4	89.5	116.6	90.3	83.5	88.9
40	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
41	87.4	99.5	90.7	105.6	82.1	111.6	115.5	115.2
42	92.6	106.9	89.1	111.1	76.0	127.9	122.3	130.2
43	96.4	128.6	99.5	142.4	102.0	145.7	122.7	140.5
43. 1月	99.0	99.4	86.6	117.5	76.0	102.8	121.5	98.7
2	97.1	92.3	87.1	93.8	75.6	102.1	121.7	97.6
3	100.9	94.7	88.0	144.9	75.9	129.4	122.3	102.5
4	107.2	98.5	87.8	95.1	77.0	103.6	124.2	97.8
5	106.2	101.4	88.3	98.4	76.1	104.6	124.8	102.8
6	105.7	169.6	89.9	174.4	76.4	170.8	124.2	312.6
7	104.4	149.9	90.9	161.5	77.5	206.3	123.2	107.1
8	103.2	108.5	89.6	97.1	76.9	127.9	123.3	107.6
9	103.8	107.5	89.3	167.0	77.0	115.8	122.4	108.6
10	101.9	104.8	85.8	99.9	76.7	120.1	122.5	106.1
11	101.9	110.3	86.1	101.3	76.3	115.3	121.6	109.2
12	101.4	306.9	85.1	357.6	76.0	349.0	121.2	335.4
44. 1	100.4	118.3	83.9	130.8	75.4	117.4	120.9	106.8
2	101.6	119.0	85.0	104.8	75.2	117.3	119.9	107.0
3	...	...	...	...	...	...	...	...

11 物 価

6 物 価

図 消費者物価指数と卸売物価指数の変化



6-1 消 費 者

1. 水 戸 市

(昭和40年=100)

費 目 品 目 数 ウ エ イ ト	総 合		食 料	住 居	光 熱	被 服	雑 費
	362	対前年(月) 比 較	146 4,074	45 1,161	8 502	62 1,297	101 2,966
昭和35年	—	—	—	—	—	—	—
36	—	—	—	—	—	—	—
37	—	—	—	—	—	—	—
38	88.7	—	85.4	92.9	99.3	88.3	90.7
39	91.5	2.8	89.2	93.4	99.3	91.1	92.8
40	100.0	8.5	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
41	104.4	4.4	103.2	105.3	97.2	103.8	107.1
42	107.9	3.5	107.1	109.2	98.4	105.3	111.3
43	114.9	7.0	115.3	116.4	99.4	110.7	111.8
43.1月	111.9	0.7	112.9	113.4	99.4	108.9	113.5
2	113.2	1.3	115.8	113.6	99.4	109.7	113.4
3	113.3	0.1	115.6	113.7	99.4	109.4	114.1
4	114.3	1.0	114.8	114.4	99.4	109.2	118.5
5	115.0	0.7	114.6	117.1	99.4	108.7	120.0
6	113.7	△1.3	111.2	117.4	98.9	110.9	119.4
7	114.0	0.3	112.2	116.9	98.9	110.4	119.4
8	115.4	1.4	115.6	117.2	98.9	110.8	119.4
9	117.8	2.4	121.3	117.2	98.9	110.4	119.7
10	116.7	△1.1	117.9	117.1	99.9	112.6	119.6
11	116.7	0	116.5	117.1	100.0	113.9	120.7
12	116.9	0.2	115.4	121.4	100.7	113.9	121.4
44.1	118.7	1.8	118.8	121.8	101.1	114.0	122.4
2	119.0	0.3	119.9	121.7	100.8	113.1	122.4
3	120.0	1.0	121.9	123.0	100.8	113.6	122.4

資料：県統計課

6-1 費目別物価上昇寄与率（水戸市）

区 分	40年	41	42	43	44.1	44.2	44.3
総 合	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
食 料	51.8	28.9	45.7	48.0	p46.7	p66.8	p79.1
主 食	13.2	8.6	7.1	12.8	p△1.1	p3.7	p0.8
生 鮮 魚 介	8.1	1.2	8.7	10.5	p5.1	p15.4	p35.3
肉 類	0.5	1.2	4.2	4.7	p△3.9	p△10.3	p△3.3
野 菜	13.5	—	11.4	—	p16.0	p1.3	p14.9
果 物	2.0	8.7	—	0.6	p16.4	p35.3	p12.1
住 居	9.0	13.6	12.7	11.7	p0.8	p△1.7	p14.6
家 賃 地 代	5.7	7.7	3.4	2.4	p0.8	p△1.7	—
設 備 修 繕	0.4	4.0	8.3	8.1	—	p△0.9	p13.7
光 熱	0.4	—	1.1	1.0	p0.6	p△2.2	—
被 服	13.6	10.9	5.5	10.1	p0.4	p△5.8	p6.3
雑 費	25.2	46.6	35.0	29.1	p10.0	—	—
交 通 通 信	1.4	15.1	6.2	2.4	—	—	—
教 育	3.8	10.7	11.2	10.2	—	—	—
教 養 娛 楽	14.2	19.3	15.4	8.3	p0.7	—	p1.0

資料：県統計課

物 価 指 数

2. 全 国

年 月	消費者物価指数（昭40年=100）			卸 売 物価指数 （昭40年=100）	戦前基準指数（昭9~11年平均=1.0）		
	全 国	対前年(月)比較	人口5万人 以上の都市		消費者物価 指 数 （東京区部）	小 売 物 価 指 数 （東 京）	卸 売 物 価 指 数
昭 和 35 年	—	—	74.0	97.9	328.0	313.8	352.1
36	—	—	77.9	98.9	345.0	322.5	355.7
37	—	—	83.2	97.3	368.2	332.5	349.7
38	90.3	—	89.5	99.0	397.3	349.4	356.0
39	93.8	3.5	92.9	99.2	413.3	355.8	356.7
40	100.0	6.2	100.0	100.0	443.2	373.8	359.4
41	105.1	5.1	105.1	102.4	464.4	382.3	368.1
42	109.3	4.2	109.2	104.3	483.5	394.3	374.7
43	115.1	5.8	115.0	105.2	...	...	...
43. 1月	113.5	0.8	113.4	105.4	502.1	405.5	378.8
2	114.0	0.5	114.0	105.6	504.3	406.2	379.5
3	114.2	0.2	114.1	105.5	506.1	408.1	379.2
4	114.5	0.3	114.5	104.7	507.0	403.3	376.3
5	114.5	0	114.4	104.7	509.6	401.0	376.3
6	113.5	△1.0	113.2	104.8	502.6	396.9	376.7
7	113.5	0	113.4	104.6	505.7	394.7	375.9
8	114.5	1.0	114.3	104.6	504.8	394.3	375.9
9	117.1	2.6	117.3	105.2	524.3	408.9	378.1
10	117.2	0.1	117.1	105.4	519.8	404.7	378.8
11	117.5	0.3	117.5	105.6	521.2	408.5	379.5
12	117.0	△0.4	116.9	105.6	518.1	408.9	379.5
44. 1	117.4	0.3	117.4	105.6	521.2	407.7	379.5
2	117.4	0	117.4	105.7	522.5	407.4	379.9
3	...	...	...	...	527.8	...	...

資料：日本銀行「経済統計月報」

家 計 主 要 指 標

Key Statistics on the Family

家 計 主 要 指 標

項 目	勤、 勞 者 世 帯							全 世 帯 消費者			
	実収入	(1) 可処分所得	消費支出	(2) 黒 字	(3) 平均消費性向	(4) 実収入指数	(4) 実消費支出指数	消費支出	エンゲル係数	(5) 物 価 指 数	
全 国											
昭和38年平均	円 53,298	49,076	41,105	7,971	83.8	90.6	92.2	40,246	38.7	90.3	(1) 実収入 - 非消費支出
39	59,704	54,873	45,511	9,362	82.9	97.8	98.3	44,481	38.1	93.8	(2) 可処分所得 - 消費支出
40	65,141	59,557	49,335	10,222	82.8	100.0	100.0	48,396	38.1	100.0	(3) 消費支出 ÷ 可処分所得
41	71,347	65,073	53,599	11,474	82.4	104.2	103.3	52,516	37.3	105.1	(4) 当該項目 (40 年=100) ÷ 消 費者物価指数
42	78,725	72,039	58,763	13,276	81.6	110.6	109.0	57,071	36.8	109.3	(5) 食料費 ÷ 消費支出
43. 9 月	71,688	65,863	61,024	4,839	92.7	94.0	105.6	60,197	37.4	117.1	
10	73,060	66,632	64,659	1,973	97.0	95.7	111.9	63,671	35.3	117.2	
11	72,797	66,571	61,335	5,236	92.1	95.1	105.8	61,241	36.1	117.5	
12	196,424	180,491	105,450	75,041	58.4	257.7	182.6	97,142	31.7	117.0	
水 戸 市											
昭和38年平均	円 67,692	61,266	44,260	17,006	72.2	108.0	92.5	40,899	34.2	88.7	
39	64,909	59,002	48,315	10,687	81.8	100.4	97.9	45,445	35.9	91.5	
40	70,600	63,966	53,892	10,074	84.2	100.0	100.0	49,643	35.5	100.0	
41	79,293	71,153	57,745	13,408	81.1	107.5	102.5	52,952	35.5	104.4	
42	86,917	78,824	62,943	15,881	79.8	113.7	107.8	59,567	34.2	108.2	
43. 9 月	68,365	61,136	64,494	△3,355	105.4	82.1	101.5	60,892	34.8	117.8	
10	76,478	69,272	62,002	7,270	89.5	92.8	98.4	61,993	33.1	116.8	
11	72,805	67,217	62,721	4,495	93.3	88.3	99.6	60,532	34.7	116.7	
12	199,177	184,853	102,181	82,672	55.3	241.3	162.2	99,206	29.2	116.9	

資料：総理府統計局

要 指 標

Income and Expenditure Survey

1 カ月 1 世帯当たりの収入と支出 (勤労者世帯)

水戸市

収 入

年 月	集計世帯数	世帯人員数	世帯主の年齢	収入(支出)		実収入	勤め先収入	事業・内職収入	他 の実収入	実収入以外の収入	前月から繰入金
				総 額	円						
昭和38年平均	61	4.24	42.6	93,967	67,692	55,464	1,607	10,621	10,101	16,174	
39	57	4.26	42.5	96,413	64,909	59,058	1,069	4,782	15,521	15,983	
40	57	3.99	42.2	108,204	70,600	64,756	1,921	3,923	19,483	18,121	
41	54	3.99	41.7	115,607	79,293	74,295	1,112	3,886	14,704	21,610	
42	54	3.88	42.0	125,294	86,917	80,407	1,804	4,646	18,087	20,289	
43. 9月	61	3.93	41.4	113,311	68,365	65,113	1,254	1,999	17,104	27,842	
10	60	4.03	41.3	114,961	76,478	70,167	1,966	4,344	12,896	25,584	
11	63	4.03	40.9	119,982	72,805	67,123	1,387	4,295	24,333	22,844	
12	64	4.03	41.1	241,418	199,177	190,912	2,050	6,215	18,074	24,167	

支 出

年 月	実支出	消 費 支 出					非消費支出	実支出以外の支出	繰越金	現物総額	備 考
		食料費	住居費	光熱費	被服費	雑費					
昭和38年平均	50,686	14,488	5,172	1,928	5,428	17,244	6,426	26,039	17,242	3,418	① (収入) の方の世帯数人員数, 年齢も (支出) に該当 ② 消費支出の計は<主要指標>のそれと一致 ③ (支出) における支出総額は上記 (収入総額) の項と同じ。
39	54,222	15,487	6,158	2,147	5,936	18,587	5,907	25,086	17,105	3,710	
40	60,526	17,182	6,698	2,414	6,725	20,873	6,634	28,330	19,348	4,269	
41	65,885	18,308	5,629	2,650	6,677	24,481	8,140	28,492	21,230	3,879	
42	71,036	16,637	6,411	2,799	7,150	26,947	8,092	32,615	21,643	4,277	
43. 9月	71,721	20,776	9,270	2,044	6,219	26,184	7,229	17,727	23,863	3,544	
10	69,208	20,415	6,072	2,544	6,745	26,227	7,206	19,964	25,789	4,187	
11	68,309	20,674	6,780	2,656	6,619	25,992	5,588	27,426	24,247	5,691	
12	116,505	28,379	14,795	3,512	15,182	40,313	14,324	93,245	31,668	8,313	



# 「科学技術情報の将来」

日本科学技術情報センター

常務理事 杠 文 吉

技術革新の結果として高度の工業化社会が実現した。間近に迫つて来た21世紀は脱工業化 (Post industry) の社会となるが、それは情報化の社会であろうというのがここ数年來の各界の一致した意見となつている。情報化社会といい、情報産業といい、知識産業といい、いずれにも適確な定義づけはなされていないが、コンピューターをツールとして知識の伝達をはかる社会であり、産業であるというばく然とした概念は固定しつつあるように思われる。

今日のように通信手段、通信網が発達し、知識が普及した社会では、革命的科学技術の創造発見はいつまでも秘密にしておくことはできない。秘密の漏洩が極刑をもつて守られた原子力製造法さえもが、今日では一般化されていることから断言できようというものである。

技術革新の急進と共に科学技術情報は爆発的增加を示している。これを数字で示せば、雑誌などの逐次刊行物の数は、世界では約50,000種 (理工系35,000種、生物、医学、農学15,000種) で15ないし20年で倍増すると推測されている。これを論文の数で見れば、年間約300万件で8ないし10年で倍増するといわれている。

このようなぼう大な量の情報の中から研究者や技術者はどうして必要なものを探索することができるか。科学技術の世界においては、今やこのことが大問題となつている。たとえばアメリカにおける化学者は、その研究時間の40パーセント程度を文献調査に費しているとのことであり、それでもなおかつ既発表の論文に目がとどかず重複研究が相当の量なされ、年間約2億ドルの損失となるとの推定がなされている。

そこで各国とも考え出したのが、原論文を要約した抄録誌を作ることであり、この抄録誌によつて必要な論文をなるべく短い時間に広い範囲にわたつて見つけ出すことができる。そして、大よその見当をつけた論文の詳細を知ろうとする場合は、原文を複写して手もとにおく方法である。しかし、この方法をもつてしても過去何年か

の蓄積資料の中から探索するとなると人力では時間もかかるし殆ど不可能に近い。

ここに登場して来たのがコンピューターである。計算をしない計算機としてコンピューターに情報を蓄積しておいて蓄積テープの中から必要な情報のみをコンピューターをして随時取り出させるようにすることが可能となりつつある。

日本科学技術情報センターでは外国の雑誌類4,500種、国内雑誌類2,000種の中から年間約40万件的論文を選択して、一論文300字以内の抄録原稿を作つてこれをカードにタイプして分類、編別して9シリーズ (物理編、化学編など) の抄録誌として旬刊、半月刊、月刊として出版して来た。この一連の作業のうち編集は人手で行つて来たが、昨年末からコンピューターを使うことによつて原稿のインプットから印刷の版下のアウトプットまでを機械的に……、行なうことができるようになった。この一連の作業を今少し詳しく述べれば以下の如くである。先ずセンター外部の抄録協力者 (それぞれの専門家) から送られて来た原稿に必要な書誌的事項 (たとえば分類番号など) を書き加えてキーパンチャーにわたし、パンチャーが紙テープにパンチしたものを磁気テープに写しかえてコンピューターにかけて編集し、これを漢字ラインプリンターに自動的に送りこんで字形化し、(たとえばTVのブラウン管に文字が写し出されるのと同じように) これをフィルムに写しとつて写真植字の版下とするしくみである。

この方法によつてこの7月から全シリーズを出版して従来のもとの遜色のないものと好評を博している。このような情報処理の機械化によつて在来法では不可能であつたものが可能となるようになった。原稿の入手以後出版までのスピードアツプがはかられるのは当然として、号末 (年末) 索引が最終号と余り後れず発行されるようになるとか、編集が簡単にしかもフレキシブルになされる結果シリーズの編成がえが自由になされるなどその

一例である。また、機械化による最大のメリットは従来不可能とされた過去の論文の検索が可能となることである。これによつて将来は情報の需要者が自分の手許にある端末装置を操作することによつて、センターの蓄積情報の中から必要情報を即時に検索するいわゆるオンラインシステムが確立されることとなる見込みである。アメリカの化学会に所属するケミカル・アブストラクト・サービス（世界最大の化学抄録誌を発行している）で

は、宇宙中継による情報検索の実験に成功している。

科学技術情報の世界的ネットワークの完成も間近いことと思われる。

国際統計協会と類似の組織としてF I D（国際ドキュメンテーション連盟）があり、情報の国際化につとめているし、O E C Dや国際学術連合（I C S U）、ユネスコなどでも標準の設定のための努力など、情報の国際的流通をはかる動きが最近活発になつて来た。

## 中小企業金融の動向 その2

### (1) 銀行の中小企業融資

都市、地方、長期および信託などの銀行の中小企業向け貸出はその他の金融機関の企業融資に比べて、企業の質の選別は厳重であり、質が相違しているが全金融機関

第15表 約定金利の動き（全国）

区 分	38年9月	39年9月	40年9月	41年9月
地方銀行	2.149	2.206	2.144	2.074
相互銀行	2.386	2.397	2.358	2.215

の中で大きなウェイトを占めている。この中でも地方銀行は地域性や沿革などから中小企業を対象にしているものが多い。関東近県では次の第16表のように4割弱を占めている。

第16表 地方銀行の中小企業貸出動向

（単位：億円，%）

区 分	39年9月	40年3月	40年9月	41年3月	41年9月
銀行の中小企業貸出金	16,617	17,468	18,207	19,998	22,271
うち地方銀行の貸出金	5,995	6,391	6,647	7,323	8,126
地方銀行の割合	36.0	36.6	36.6	38.3	36.5

41年9月における銀行の貸出額は全国で6兆5,656億円、31%となつており、関東9県では2兆2,227億21.4%となつているが、地域別にみれば著しく相違している。このうち本県における貸出残高は684億である。

東京における銀行の中小企業向け貸出金は貸出先数276千件、残高1兆4,464億円で1件あたり52百万円となり、全国3.2百万円を上まわつている。また、東京における大企業向け貸出先数は334千件であるが、貸出残高は

7兆4,453億円に達し1件あたり2億23百万円となり、全国銀行の大企業貸出金のうち貸出数は36.6%、貸出残高では52.2%となつている。

本県における中小企業向け貸出は、41年9月貸出件数424件、貸出残高は684億円、1件あたり1.6百万円である。これの貸出金残高のうちに占める構成割合は59%であり、山梨、栃木県などの70%に比べれば低いが神奈川の41%は上回つている。なお貸出先のうちに占める中小企業の件数は本県99%で、神奈川を除き各県とも99%前後となつており、中小企業貸出が大部分ということとなる。

銀行の中小企業貸出は、39年9月から41年9月までの2年間に東京では、貸出先数は81千件41.6%、貸出金は3,462億円、31.3%増加しており、本県においては貸出先5.8千件、16%、貸出金残高122億円、20.8%と増加している。他県においても同様の傾向にある。総じて、これを40年9月までと41年9月までの各年の増勢をみると、40年の不況期には大企業向け貸出金が増加し、中小企業向け貸出が減少したといえる。

これに対して、41年の景気回復期には、大企業融資の漸増にくらべ、中小企業融資が急増しているのが目立っている。大企業では投資が一段落しているのに比し、中小企業では潜在的な資金需要が急速に表面化したものと思われる。これを、設備資金についてみれば、関東9県計において、大企業は40年7%増、41年8%増となつているのに対して、中小企業はそれぞれ19%、27%と急増を示している。本県においては40年7%強の増にすぎなかつたが、41年には27%弱と増加が急であつた。

業種別に中小企業向け貸出の構成をみると、第18表に

第17表

## 銀行の中小企業貸出

区 分	貸 出 先 数				貸 出			
	39年9月末	40年9月末	増 減 率	41年9月末	増 減 率	39年9月末	40年9月末	
大 企 業	全 国	78,747	88,852	12.8	91,095	2.5	109,227	127,822
	東 京	28,992	32,926	13.6	33,379	1.4	55,968	66,465
	茨 城	306	376	22.9	321	△14.7	534	566
	関 東 甲 信 7 県	5,690	5,464	△4.0	5,657	3.5	5,182	6,078
	関 東 甲 信 9 県 計	34,998	38,766	10.8	39,357	1.5	61,684	73,109
中 小 企 業	全 国	1,574,849	1,755,183	11.4	2,060,496	17.4	50,049	54,261
	東 京	195,151	227,210	16.4	276,375	21.6	11,002	11,902
	茨 城	35,997	37,773	4.9	41,788	10.6	562	594
	関 東 甲 信 7 県	186,796	209,265	12.0	258,212	23.4	5,084	5,711
	関 東 甲 信 9 県 計	417,944	474,248	13.5	576,375	21.5	16,648	18,207
合 計	全 国	1,653,596	1,844,035	11.5	2,151,591	16.7	159,276	182,083
	東 京	224,143	260,136	16.1	309,754	19.1	66,970	78,367
	茨 城	36,303	38,149	5.1	42,109	10.4	1,096	1,160
	関 東 甲 信 7 県	192,486	214,729	15.5	263,869	22.9	10,266	11,789
	関 東 甲 信 9 県	452,932	513,014	13.3	615,732	20.0	78,332	91,316

資料：日本銀行

第18表

## 銀行の中小企業種別

区 分	全 国				関 東 甲 信 9 県				東 京
	39年9月末		41年9月末		39年9月末		41年9月末		
	増 減 率	増 減 率	増 減 率	増 減 率	増 減 率	増 減 率			
	39年9月末	41年9月末	40.9	41.9	39年9月末	41年9月末	40.9	41.9	39年9月末
	貸 出				貸 出				
製 造 業	309.2	343.1	4.4	6.3	93.5	106.4	7.0	6.4	49.4
建 設 業	53.3	76.1	17.6	21.8	14.6	22.6	23.3	25.6	7.1
運 輸 通 信 業	23.3	29.8	9.2	9.2	5.9	7.2	13.5	7.5	3.0
卸 小 売 業	124.0	519.3	9.6	4.6	110.6	133.1	6.2	13.3	44.7
サ ー ビ ス 業	98.2	137.6	16.5	20.2	26.7	39.1	19.3	24.1	11.3
不 動 産 業	7.0	10.6	22.2	24.3	2.2	4.8	81.8	20.0	2.2
そ の 他	631.0	945.6	14.9	30.5	163.7	262.8	20.1	33.7	77.2
合 計	1,574.8	2,060.6	11.4	17.4	317.9	576.0	49.2	21.4	195.1
	貸 出 残				貸 出 残				
製 造 業	21,423	26,377	5.2	17.0	7,069	8,911	5.9	11.9	4,460
建 設 業	2,427	3,462	19.0	19.9	814	1,235	20.2	26.1	538
運 輸 通 信 業	1,240	1,678	10.9	22.0	397	542	12.6	21.3	254
卸 小 売 業	15,895	20,055	5.8	19.3	4,960	6,283	5.9	19.6	3,407
サ ー ビ ス 業	2,847	4,596	21.7	32.4	1,010	1,569	22.2	17.1	553
不 動 産 業	1,524	2,552	28.2	30.6	849	1,370	25.1	29.0	729
そ の 他	4,693	6,936	11.3	32.8	1,547	2,362	14.9	32.9	1,062
合 計	50,049	65,656	8.4	21.0	16,646	22,272	9.6	22.1	11,002

資料) 日本銀行

金 残 高 推 移 (全 国)

(単位：億円)

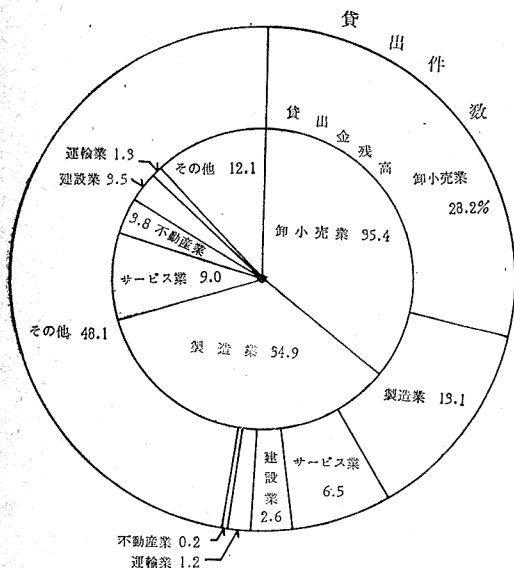
金 残 高			う ち 設 備 資 金				
増 減 率	41年9月末	増 減 率	39年9月末	40年9月末	増 減 率	41年9月末	増 減 率
17.0	142,593	11.5	22,026	25,249	14.6	27,098	7.3
18.8	74,453	12.0	13,741	14,636	6.5	15,750	7.6
6.0	460	△18.8	36	36	0.0	46	△27.8
17.3	7,217	18.7	439	521	△18.7	426	△19.2
18.5	82,130	12.3	14,616	15,193	6.9	16,422	8.1
8.4	65,656	21.0	5,362	6,476	20.8	8,688	34.2
8.2	14,464	21.5	1,557	1,836	17.9	2,230	21.5
5.7	684	15.1	80	86	7.5	109	26.7
12.3	7,122	24.7	566	692	22.3	987	42.6
9.4	22,270	22.3	2,203	2,164	18.7	3,326	27.2
14.3	208,249	14.4	27,388	31,725	15.8	35,786	12.8
17.0	88,917	13.5	15,298	16,471	15.2	17,980	9.2
5.8	1,144	△1.4	116	122	5.2	155	27.0
14.8	14,339	21.6	1,005	1,213	20.7	1,613	33.0
16.6	10,440	14.3	16,419	17,807	15.4	18,748	10.9

貸 出 金 の 増 減 推 移 (全 国)

41年9月末	京		茨 城				関 東 甲 信 7 県			
	増 減 率		39年9月末	41年9月末	増 減 率		39年9月末	41年9月末	増 減 率	
	40.9	41.9			40.9	41.9			40.9	41.9
数 (単位：千件，%)										
54.9	8.0	19.4	5.2	5.5	1.9	3.8	38.8	46.0	6.4	11.4
10.3	20.3	19.5	0.8	1.1	25.0	11.0	6.6	11.2	27.2	33.3
3.4	12.1	2.5	0.4	0.5	14.0	0.0	2.6	3.3	11.5	13.8
52.5	7.4	8.8	11.0	11.8	0.0	7.3	54.7	68.8	6.4	18.2
16.0	17.9	20.2	2.1	2.7	9.5	17.4	12.9	20.4	23.3	28.3
2.9	16.1	17.4	0.1	0.1	0.0	0.0	1.0	1.8	40.0	28.6
136.3	26.7	39.4	16.4	20.0	7.3	13.6	70.1	106.4	15.8	31.0
<b>276.4</b>	<b>16.4</b>	<b>21.6</b>	<b>36.0</b>	<b>41.8</b>	<b>5.0</b>	<b>10.6</b>	<b>186.8</b>	<b>257.9</b>	<b>12.0</b>	<b>23.2</b>
高 (単位：億円，%)										
5,620	5.5	19.4	209	239	4.7	9.1	2,400	3,053	6.9	19.0
775	16.5	23.5	19	24	5.2	20.0	257	436	29.2	31.3
343	11.0	21.6	9	9	0.0	0.0	134	191	16.4	22.4
4,133	3.7	17.0	195	242	3.6	19.8	1,358	1,908	11.7	25.8
849	22.4	25.5	56	61	3.6	5.2	401	659	24.7	31.8
1,258	22.5	29.7	12	26	50.0	8.3	108	186	34.2	28.3
1,586	11.7	33.8	6	83	15.7	△14.6	322	693	53.7	40.0
<b>14,464</b>	<b>8.2</b>	<b>21.5</b>	<b>562</b>	<b>684</b>	<b>5.9</b>	<b>15.0</b>	<b>5,182</b>	<b>7,124</b>	<b>10.2</b>	<b>24.8</b>

掲記したように、41年9月末関東9県計における貸出金残高は全国とほぼ同様に製造業40%、卸小売業28%、サービス業7%、建設業、不動産業6%前後となり、貸出先件数は卸小売業23%、製造業19%、その他（個人消費ならびに農林漁業等が）46%となつている。本県の場合の構成比は、次の第3図のとおりであり、40年9月末にくらべ貸出金においては卸小売業2.3%増、製造業、そ

3図 銀行の中小企業業種別貸出金件数および残高  
41年9月末



他の業種は殆ど動きがない。41年9月末の1件あたり業種別貸出残高は中小企業総体平均で164万円、業種別には不動産業1,964万円、製造業430万円、サービス業230万円、建設業215万円、その他卸小売業、運輸業は200万円前後となり、その他（個人消費、農林漁業を含む）は41万円と少額である。

39年9月以降2年間の増勢をみれば、41年の増勢の最も大きいのは建設業、卸小売業が貸出金残高の上位であり、その他は減少の傾向をみせている。

貸出金総額では製造業、卸小売業で全体の70%を占めており、また増勢の傾向にある。

## (2) 中小企業専門の金融機関

相互銀行、信用金庫、信用組合は従来の無尽会社、市街地信用組合などの改組されたものであり、中小企業金融の専門機関として、中小企業の経済活動を支えてきた。

全国におけるこれら3機関の規模は、預金額で昭和30年代初期の10倍強に増加し、当時は銀行の預金の20%前後にすぎなかつたが、41年9月末に35%に相当する7兆7,777億円に達している。貸出金は6兆3,017億円である。東京においては預金、貸出金とも信用金庫のウェイトが大きく、他の2機関をあわせたものに相当している。本県においては、相互銀行、信用金庫、信用組合の預金構成は42:32:25、貸出金のそれは41:29:29となつている。

1機関あたりの平均預金額は、第19表のとおりであるが、相互銀行が一番大きい。相互銀行も掛金給付業務はわずかとなり、地方銀行とさして変わらない内容と規模に変つてきたようである。関東近県の相互銀行の半数は掛金は資金量の5%にも達しないといわれており、残りも15%以下である。

中小企業金融の3機関の預金は、全国では39年9月から40年9月まで18%増、続く41年9月までの1年間では17%増となつている。東京では40年17%増加したにもかかわらず、41年には16%と伸びなやんでいる。これは金融機関緩和を背景に中小企業の資金需要が増加し、貸出金の伸びにもかかわらず預金の歩どまりの少なかつたことを意味している。

本県においては、預金、貸出金ともに39年9月から41年9月までの2年間に14%強の増加をみているが預金の伸びが貸出金のそれを僅かに下まわつている。これは、特に後半において預貸率の高まつたためである。

3金融機関の貸出金は、39年9月から2年間に全国では40.6%増加し、関東9県でも41%増加しているが、41年との比較では41年の情勢が顕著である。

金融機関別にみると第20表のように、関東9県では40年9月相互銀行17.5%、信用金庫13.1%、信用組合21.1%増加し、41年には相互銀行21.4%、信用金庫21%、信用組合26%の増加となつている。40年における銀行の対中小企業向け貸出増加が、6.4%であつたのにくらべて、3機関とも大巾に増加している。本県の銀行のそれは5.7%であるから3.2倍の増加といふことができる。

41年には関東9県では相互銀行21.4%、信用金庫21%、信用組合26%となり、本県のそれは14.2%、30.9%、28.6%となつている。40年には不況過程において全

第19表

## 中小企業専門金融機関の預金貸出金（全国）（単位：億円）（41年9月末）

区 分	機 関 数	預 金 残 高			貸 出 金 残 高			預 金 率	
		構 成	1 機 関 あたり	関 連	構 成	1 機 関 あたり	関 連		
相互銀行	全 国	72	34,957	100.0	485	28,950	100.0	402	82.8
	東 京	6	5,436	15.6	906	4,710	16.3	785	86.7
	茨 城	2	314	0.8	157	226	1.8	113	72.0
	関 東 甲 信 7 県	—	3,419	9.8	—	3,167	10.9	—	92.6
	関 東 甲 信 9 県 計	—	9,169	26.2	—	8,103	28.0	—	88.4
信用金庫	全 国	523	34,033	100.0	65	26,869	100.0	51	79.0
	東 京	79	9,367	27.5	119	7,316	27.2	93	78.1
	茨 城	6	228	0.6	38	167	0.6	28	73.2
	関 東 甲 信 7 県	—	4,477	13.2	—	3,161	11.8	—	70.6
	関 東 甲 信 9 県 計	—	14,072	41.3	—	10,644	39.6	—	75.6
信用組合	全 国	535	8,787	100.0	16	7,198	100.0	13	81.9
	東 京	78	2,449	27.9	31	2,072	28.8	27	84.6
	茨 城	6	183	2.1	31	162	2.2	80	88.5
	関 東 甲 信 7 県	—	1,234	14.6	—	1,000	13.9	—	81.0
	関 東 甲 信 9 県 計	—	3,866	44.0	—	3,234	44.9	—	83.6
合 計	全 国	1,130	77,777	100.0	69	63,017	100.0	56	81.0
	東 京	163	17,252	22.2	106	14,099	22.4	86	81.7
	茨 城	14	725	1.0	52	555	0.9	40	76.5
	関 東 甲 信 7 県	—	9,130	11.7	—	7,327	1.6	—	80.2
	関 東 甲 信 9 県 計	—	27,107	34.9	—	21,981	34.9	—	81.1

第20表

## 中小企業専門金融機関の預金増減（全国）

（単位：億円）

区 分	東 京		茨 城		城 計		対 前 年 増 加	
	39年9月末	41年9月末	対 前 年 増 加		39年9月末	41年9月末	対 前 年 増 加	
			40/9	41/9			40/9	41/9
相互銀行 信用組合 信用組合 計	4,017	5,436	16.8	15.6	257	314	9.7	11.3
	7,036	9,367	16.4	14.4	149	228	28.1	19.4
	1,648	2,449	20.7	23.5	104	183	41.3	24.6
	<b>12,702</b>	<b>17,251</b>	<b>17.1</b>	<b>15.9</b>	<b>510</b>	<b>725</b>	<b>21.6</b>	<b>16.9</b>
区 分	関 東 甲 信 7 県		関 東 甲 信 9 県 計		関 東 甲 信 9 県 計		対 前 年 増 加	
	39年9月末	41年9月末	対 前 年 増 加		39年9月末	31年9月末	対 前 年 増 加	
			40/9	41/9			40/9	41/9
相互銀行 信用組合 信用組合 計	2,661	3,733	16.6	20.3	6,935	9,483	16.5	17.4
	3,348	4,705	17.5	19.5	10,533	14,300	16.9	16.1
	1,684	1,417	△32.2	23.9	3,346	4,049	△4.6	23.4
	<b>7,693</b>	<b>9,855</b>	<b>6.3</b>	<b>20.4</b>	<b>20,905</b>	<b>27,831</b>	<b>13.3</b>	<b>17.5</b>

第21表 中小企業金融機関貸出金の増加率

	全 国	東 京	茨 城	関 東 9 県
	%	%	%	%
39年10月～40年9月	18.7	15.4	18.1	9.1
40年10月～41年9月	18.4	20.9	20.6	21.3

融が緩和したにもかかわらず、貸出が停滞しているが、特に信用金庫では貸出金が抑制されていたのである。

このため、これら本県の金融機関の預貸率は39年9月

74.9%から40年9月には72.8%と低下している。地域的には栃木、群馬など本県よりも高水準にあるが、資金需要の旺盛な東京周辺において70%前後に低下している。これは、深刻な不況のなかにあつて都市銀行がオーバーローンとこれに伴う収支の悪化にもかかわらず、大企業の資金需要を支えることによってコールレートの高騰を招き、このため地方銀行、信用金庫などの資金が中小企業の需要にまわらず、コール市場に吸いあげられたためであろう。（県統計課 大録義行）

# 1970年世界農林業センサスの

## 実施計画と問題点

### はじめに

1970年世界農林業センサスは、10年に1回FAO（国際連合食糧農業機構）の提唱のもとに、世界各国が歩調を合わせて実施するもので、世界農業センサスにわが国が参加して行なうものとしては、50年、60年センサスに引きつづく第3回のものであり、また農業、林業両センサスを同時に合わせ行なうものとしては60年センサスにつづく第2回のものである。

農林省においてはこの大規模な70年センサスの円滑な実施を期し41年度には市町村集計に関する問題点の研究調査、42年度にはフルドレスブリテスト、43年度には調査内容の研究調査等を行ない、その準備に努めて来たところであるが、いよいよ44年度から調査を実施する運びとなつた。年次計画としては44年度には準備調査と実査ならびに審査、45年度には集計と公表、46年および47年度には報告書の作成と組替集計を主として実施することとしている。以下70年センサスの概要とこれに関する主要問題点について述べご参考に供したい。

#### 1. 70年センサス実施の目的

- (1) 70年センサス実施の第1の目的はわが国の農林業の現況とその変遷過程を各地域別に明らかにし、国、都道府県、市町村の農林行政の基礎資料を作成することにある。

この点に関し農林業センサスは、単に農林省の行政に役立てるとのことのみでなく、都道府県、市町村等の行政には勿論、農林業団体、学界等にも広く役立つ、いわば国民全体に役立つ国民の財産としての基礎統計を作成するという理念にもとづいて実施するものであると考えている。センサスの結果を市町村の行政区画としての農業集落別にまずまとめ、さらに旧市町村、新市町村別に結果を順次まとめることとしていること、或いはその結果を広く利用に供するため報告書等を各界に配布していること、市町村が必要に応じて

行なう組替集計や各種機関が行なう農林業の実態調査等に利用しうよう個票を市町村に保存願っていること等は この考えにもとづくものである。

- (2) 次に今回のセンサスは前記のようにFAOが世界各国の農業生産の発展と農民の生活水準の向上に役立てるため、各国相互に比較できる農業統計の作成を目標として、加盟各国が一斉に実施するよう提唱している1970年世界農業センサスに参加して行なうものである。したがってFAOが世界農業センサス要綱で各国に作成を要請している共通項目についての統計を作成することもこのセンサスの大きな目的の1つである。なおこの点に関連してわが国は農業統計に関しても先進国として世界各国、とくにアジア極東地域諸国からの注目をあびており、70年センサスについては、わが国の計画ないし実施方法等が昨年FAOによつて開催された職員訓練センターのさいなどに範として紹介されており、また本年も多くの国から実施見学の申込をうけていること等を附記しておきたい。
- (3) 農林業センサスはこのほか年々各調査機関で実施する農林業に関する各種標本調査の設計のため不可欠な基礎資料を作成するという重要な目的をもっており、今回のセンサスにより作成される農業集落別統計、照査表、農家林家名簿或いは市町村分割地図等がこれに活用されることになる。

#### 2. 調査の概要

このような目的を達成するため、今回のセンサスについては農林省、都道府県、市区町村の組織により、本年8月以降準備調査を実施し、45年2月1日現在で農業事業体調査（農家調査、農家以外の農業事業体調査に分れる）、林業事業体調査（農業と同様）を、また農林省、統計調査事務所の組織により農業集落調査を、さらに45年8月1日現在で林業地域調査を実施する計画である。

- (1) 準備調査

## ア 農業集落と調査区の設定

農家調査の集計単位および農業集落調査の調査客体としての農業集落、ならびに農家林家調査の調査員担当区域としての調査区を、本年8月1日現在で、前回に設定したもののうち不適切なものを修正して設定する。

## イ 市町村に居住しない山林保有者は握

山林の所在する市町村に居住しない山林保有者の住所氏名簿を固定資産税課税台帳等にもとづいては握し、これを保有者の居住する市町村に通知する。通知を受けた市町村ではこれを照査表作成の基礎資料とする。

## ウ 照査表の作成

農業、林業事業体調査の調査客体を洩れなくは握するため本年12月1日現在照査表を作成する。その方法としては市町村において、農家については65年、その他については、60年センサスの照査表から当時の調査客体を70年センサス照査表に転記し、さらに各種の資料により補正を加え、これにもとづき調査員または指導員がその後新たに発生した客体を、自己の知識や精通者からのききとりにもとづき握記入する。また離農したもの等については実査のさいは握して補正するという方法をとる。

## (2) 農家調査・林家調査

全国560万戸の全農家と270万戸の全林家の対象として実施するが、林家のうち254万戸は農家であるので、これについては農家調査票で同時に調査することになる。したがって実質的には560万戸の農家調査と約16万戸の非農家林家調査を行なうということになる。なおこの調査が70年センサスの中心をなす調査であることはいうまでもない。

いずれも調査員が担当調査区の客体を訪問し、面接ききとり調査を実施する。調査の主な内容は、農業関係としては、世帯員の構成とその農業兼業への就業状況、耕地面積、主要作物収穫面積、家畜養蚕飼養頭羽数、雇用労働、農用機械施設、経営組織、林業関係としては、山林面積、植林面積、林業労働、林業機械等である。

## (3) 農家以外の農業事業体調査

指導員が全国約1万余の事業体の代表者に対し、農家調査と同様の事項につき面接調査を実施する。なお実査の対象としては協業経営、会社等主として営利を目的に農業を営むもの、および牧草地を営する育成牧場等に限定する考えである。

## (4) 林家以外の林業事業体調査

指導員または調査員が全国約30万の事業体（会社、団体等）の代表者に対し林家調査と同様の事項につき面接調査を実施する。

## (5) 農業集落調査

統計調査事務所出張所職員が全国約16万の農業集落の事情に詳しい人につき面接し、集落の性格、農業生産や生活環境条件等について調査する。

## (6) 林業地域調査

全国約1万余の旧市区町村を単位とし、前記(5)と同様の方法や資料収集により、属地主義により、林野面積、林産物、林業生産環境等を調査する。

## 3. 調査設計の基本的考え方

(1) これらの調査設計に当つては、最近における調査員の選任難に対処し、またとくに市町村の負担の軽減を目途として、前記のフルドレスブリテスト等を通じ種々調査の内容、方法等につき検討を加えて来たところである。その結果、今回のセンサスにおいては、調査量は少なく、統計は豊富に、ということの基本方針として設計を行なうこととした。

(2) 具体的な方向としては主として次のとおりである。

ア 照査表の作成方法を60年センサスにおける全戸巡回方式（調査区内の全世帯を訪問して作成する）から前記のような加除訂正方式に簡略化する。

イ とくに農業、林業事業体調査における調査項目を前記の目的達成のための必要最少限の基本項目に限ること。

ウ 調査方法や約束事項を調査員の理解しやすいものに極力改めること。

エ 林業事業体調査についてとくに特定都市地域の調査の困難性を少なくするため零細規模の山林保有者の調査の簡略化を図る。

オ 市町村における農家調査・林家調査・農家以外の



農業事業体調査の手集計を廃止し、農家林家調査の集計は都道府県一農林省による機械集計（民間集計組織に委託）の方法により行なうこと。

カ 機械集計により従来どおり集落別統計、新旧市町村別統計を作成し市町村に還元する。この場合市町村の利用しやすい形とした利用方法について十分説明を加えること。

キ 各種の組替集計を行ない利用性の高い統計を豊富に作成すること。また集計過程で作成された磁気テープを広く利用に供しセンサス結果の利用性を高める。

#### 4. 調査に関する主な問題点

##### (1) 実査について

従来の農業センサスにおいては、とくに農産物収穫面積や家畜飼養頭羽数或いは農産物販売額等について農家が過少申告したり、また最近では請負耕作の事実をかくして申告することが多いといわれ、このため調査結果の信頼性が疑われる傾向にある。

このことは公共機関の調査に対する農家の伝統的な自己防衛の姿勢の現われであり、まず調査する側としても調査のあり方なり、調査結果の利用方法について謙虚に反省検討することが必要と考えられる。しかしこれらの調査事項について正しい結果を得、利用性の高い統計を作成することは、市町村、都道府県、国等が農民の生活水準の向上と地域農林業の発展を目指し各般の行政を企画実施するに当つて欠くことのできないものである。狂つた羅針盤によつては船は正しい方向には進みえず暗礁に乗り上げることにもなろう。従つてこのように正しい申告が結局は農民生活の向上や農林業の発展に直結すること。また申告の結果の秘密は厳重に守られ、それが課税につながるようなことは絶対ないことを調査にさいし農家に十分理解願ひ正しい結果がえられるよう、とくに市町村、指導員、調査員の方々の努力をお願いしたいと考える次第である。そして前にもふれた様に農林業センサスは単に農林省の行政のみに必要な統計を作るために実施するのではなく各市町村、都道府県ならびに国の農林行政に役立つ統計の作成を主目標として実施するものであり、各機関は自らのためにこのセンサスの機会に国の経費を利用し、自らの行政に役立てるための統計を作るという考えのもとに正確な調査を実施することを考えていただくよう切望するものである。

##### (2) 調査結果の審査と集計について

前記のように今回のセンサスの主要部分たる農家林家調査の集計は都道府県と農林省による機械集計の方

法によることとした。これは農林業センサスとして初めての試みとして正に大きな試練に立つものであり、機械集計の成否がこのセンサスの成否を左右するということになる。

このため農林省では早くからその方法について各種のテストを行ない計画を練り、問題点についての研究を実施しているところであるが、その中で最も大きな問題と考えられるのは調査票における誤りを如何にすなくすかということである。これには調査方法を極力平易にし、また調査員への指導を充実することが、まず肝心であるが、そのようにしても或る程度の誤りの発生は避けられないものと考えられよう。そこで市町村における調査結果の綿密な審査が極めて重要なこととなり、いわば審査がセンサスの死命を制することとなる。

個別調査結果に誤りがあれば、機械はそのまま集計してしまい、誤まつた統計が作成されることになる。電子計算機はただ機械的に集計するだけであり、人間のように集計過程で誤りを発見するというような能力は全くない。勿論機械に命令を与えここには必ず記入がなければならぬとか、こことここと一致するといった事項についての機械的審査を行なうことはできるが誤りを発見しても正しい答は何であるかは全くわからない。したがつてその過程で正しい答について都道府県から市町村に回答を依頼することになるが、このようなことが多くなれば集計は円滑に進まず、結果を利用できる時期が大巾に遅延するという事態が生ずる。

またとくに調査員が記入欄を誤つたとか、50アールを500アールとケタ違いをして記入したとかいつた場合は機械による審査は不可能であり、しかも結果は大きく狂つたものとなつてしまうのである。

個票の審査という仕事は真に面倒な根気を必要とするものである。

しかし、以上のように正に今回のセンサスの死命を制するものであるとくに市町村の方々にはこの点を十分ご理解ねがい誰もが安心して利用できるセンサス統計を作成するためご協力のほどを切におねがいする次第である。

(統計情報より)

# 学校基本調査(学校調査票)結果の概要

## 県統計課

### 調査の概要

この調査は、学校基本調査規則に基づいて学校に関する基本的な事項を調査し、教育行政上の基礎資料を得るため毎年実施しているもので、本年5月1日現在の結果は下記のとおりであるが、この数値は、文部省の公表をもつて確定数となります。

#### 1. 目的

この調査は、学校に関する基本的事項を調査し、学校教育行政上の基礎資料を得ることを目的とする。

#### 2. 調査の期日

昭和44年5月1日

#### 3. 調査の範囲

学校教育法第1条の学校、同法第83条の各種学校

#### 4. 調査の方法

国立の学校および大学、短大については文部省から直接調査票を配布、その他の高等学校以下の各学校については、都道府県を通じて調査する。

#### 5. 調査事項

学校調査票……学校数、学級数、幼児児童生徒数、教員数、職員数

### 学校数

昭和44年5月1日現在の学校数(高等学校以下の各学校で、国立幼、小、中は除く。以下各表とも同じ)は1,076校あり、学校種別では表1に示すとおりである。

小・中学校においては、学校統合により年々減少してきているのに対し、高等学校では前年より2校増、幼稚園では前年より20園増加して177園となった。

表1 学校数

区分	総数			幼稚園			小学校			中学校			高等学校			盲、ろう、養護	
	合計	公立	私立	計	公立	私立	計	公立	私立	計	公立	私立	計	公立	私立	計	公立
昭44年	1,076	970	106	177	90	87	600	599	1	209	206	3	84	69	15	6	6
昭43年	1,066	964	102	157	73	84	606	605	1	215	213	2	82	67	15	6	6
前年との比較	10	6	4	20	17	3	△6	△6	—	△6	△7	1	2	2	—	—	—

〔注〕国立(茨大附属幼、小、中)は除いてある。以下各表とも同じ。

### 学級数

#### 1. 幼稚園

園数の増加に伴って学級数もふえ、前年より82学級増の580学級となった。

なお、1学級あたり平均園児数は35.1人である。

表2 幼稚園の学級数

区分	総数	公立	私立
昭44年	580	226	354
昭43年	498	195	303
前年との比較	82	31	51

#### 2. 小学校

総数6,569学級で前年に比べ18学級の減である。これを編制方式別にみると児童の漸減にともない単式、複式学級は減少しているのに対し、特殊学級は年ごとに増加しており、本年度は24学級増の282学級(総数の4.3%)となった。

#### 3. 中学校

本年度も生徒の減少にしがたつて、前年より90学級減の3,211学級となった。

編制方式別では、小学校と同様単式学級が減少し、特殊学級が増加して163学級(総数の5.1%)となつている。

表 3

## 小 学 校 の 学 級 数

区 分	総 数	単 式 学 級						複 式 学 級			特殊 学級	単級		
		計	1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	5 学年	6 学年	計	2 個 学年			3 個 学年	
昭44	総 数	6,569	6,223	1,024	999	1,033	1,037	1,073	1,057	64	61	3	282	—
	公 立	6,567	6,223	1,024	999	1,033	1,037	1,073	1,057	62	60	2	282	—
	私 立	2	—	—	—	—	—	—	—	2	1	1	—	—
昭43	総 数	6,587	6,263	994	1,016	1,037	1,062	1,046	1,108	65	64	1	258	1
	公 立	6,586	6,263	994	1,016	1,037	1,062	1,046	1,108	65	64	1	258	—
	私 立	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
前年との比較	△18	△40	30	△17	△4	△25	27	△51	△1	△3	2	24	△1	

表 4

## 中 学 校 の 学 級 数

区 分	総 数	単 式 学 級				複 式 学 級		特殊学級	単 級
		計	1 学 年	2 学 年	3 学 年	計	2 個 学年		
昭44	総 数	3,211	3,048	981	1,018	1,049	—	163	—
	公 立	3,187	3,024	973	1,010	1,041	—	163	—
	私 立	24	24	8	8	8	—	—	—
昭43	総 数	3,301	3,154	1,026	1,047	1,081	—	146	1
	公 立	3,280	3,133	1,019	1,040	1,074	—	146	1
	私 立	21	21	7	7	7	—	—	—
前年との比較	△90	△106	△45	△29	△32	—	17	△1	

幼児・児童・生徒数
-----------

## 1. 幼 稚 園

前年より2,246人増えて20,354人となった。

内訳は公立8,266人、私立12,088人で私立の方が多い。

年令別の園児数を割合で見ると、3才児2.2%、4才児24%、5才児は73.8%で大半を占めている。

なお、本年度の幼稚園修了者は13,560人で、就園率（小学校1学年のうち幼稚園修了者の占める割合）は40.6となり、前年より5.0高くなった。

表 5

## 幼 稚 園 の 年 令 別 園 児 数

区 分	総 数	公 立				私 立				修了者数
		計	3 才	4 才	5 才	計	3 才	4 才	5 才	
昭44年	20,354	8,266	7	652	7,607	12,088	441	4,229	7,418	13,560
昭43年	18,108	7,524	—	627	6,897	10,584	407	3,552	6,625	11,734
前年との比較	2,246	742	7	25	710	1,504	34	677	793	1,826

## 2. 小 学 校

本年度の児童総数は209,305人で、前年に比べ5,106人少なくなった。

このように児童数は年々減少してきており、学年別児童数からみてもここ数年は減少する傾向である。

市町村別の児童数をみると、前年より増加したのは7市8町村だけで、うち100人以上増加したのは、水戸

市、日立市、土浦市、古河市、勝田市、鹿島町、取手町などである。

## 3. 中 学 校

小学校と同じく年ごとに減少しており、本年度は前年より4,854人減の121,820人となった。

公私立別では、公立120,851人、私立969人である。

表 6

## 小学校の学年別児童数

区 分	総 数	1 学 年	2 学 年	3 学 年	4 学 年	5 学 年	6 学 年	
昭44	総 数	209,305	33,435	33,029	34,165	35,250	36,923	36,503
	公 立	209,297	33,433	33,027	34,163	35,249	36,922	36,503
	私 立	8	2	2	2	1	1	—
昭43	総 数	214,411	32,946	34,056	35,198	36,863	36,487	38,861
	公 立	214,405	32,944	34,054	35,197	36,863	36,487	38,860
	私 立	6	2	2	1	—	—	1
前年との比較	△5,106	489	△1,027	△1,033	△1,613	436	△2,358	

なお、市町村別の生徒数をみると、前年より増加したのは8市町村であるが、鹿島町の44人を除いては10名前後の増加である。

表 7 中学校の学年別生徒数

区 分	総 数	1 学 年	2 学 年	3 学 年	
昭44	総 数	121,820	38,774	40,943	42,103
	公 立	120,851	38,456	40,618	41,777
	私 立	969	318	325	326
昭43	総 数	126,674	40,962	42,144	43,568
	公 立	125,708	40,643	41,818	43,247
	私 立	966	319	326	321
前年との比較	△4,854	△2,188	△1,201	△1,465	

表 8

## 高等学校の生徒数

区 分	総 数	全 日 制				定 時 制					専攻科	別科	
		計	1 学 年	2 学 年	3 学 年	計	1 学 年	2 学 年	3 学 年	4 学 年			
昭44	総 数	90,143	85,003	28,463	28,275	28,265	5,082	1,411	1,306	1,246	1,119	55	3
	公 立	73,063	67,935	22,370	22,655	22,910	5,082	1,411	1,306	1,246	1,119	46	—
	私 立	17,080	17,068	6,093	5,620	5,355	—	—	—	—	—	9	3
昭43	総 数	92,500	87,149	28,570	28,622	29,957	5,295	1,508	1,383	1,208	1,196	51	5
	公 立	75,159	69,821	22,814	23,145	23,862	5,295	1,508	1,383	1,208	1,196	43	—
	私 立	17,341	17,328	5,756	5,477	6,095	—	—	—	—	—	8	5
前年との比較	△2,357	△2,146	△107	△347	△1,692	△213	△97	△77	38	△77	4	△2	

## 教員数

高等学校以下各学校の教員数（本務、兼務者）は総数19,189人で、公立19,041人、私立148人である。

学校種別では表9に示すとおりで、中学校が前年より減少し、幼、小、高校はそれぞれ増加している。なお、

## 4. 高等学校

高等学校の生徒は、昭和41年をピークとしてその後は年々減少し、本年度は90,143人となった。

内訳は、公立73,063人（81.1%）私立17,080人（18.9%）、全日、定時制別では、公私立あわせて、全日制85,003人、定時制5,082人となり、ほかに専攻科55人、別科3人となっている。

本務教員1人あたりの児童生徒数は、小学校25.3人（前年25.9人）中学校22.8人（前年23.1人）である。

表 9

## 教 員 数

区 分	総 数			幼 稚 園			小 学 校			中 学 校			高 等 学 校			盲、ろう、養護	
	計	公立	私立	計	公立	私立	計	公立	私立	計	公立	私立	計	公立	私立	計	公立
昭44年	19,189	17,858	1,331	970	422	548	8,283	8,280	3	5,400	5,328	72	4,369	3,661	708	167	167
昭43年	19,041	17,804	1,237	837	346	491	8,274	8,271	3	5,528	5,466	62	4,247	3,566	681	155	155
前年との比較	148	54	94	133	76	57	9	9	—	△128	△138	10	122	95	27	12	12

## 職員数

職員数は、前年より82人増の3,657人で、学校種別では表10に示すとおりである。

表 10

## 職 員 数

区 分	総 数			幼 稚 園			小 学 校			中 学 校			高 等 学 校			盲、ろう、養護	
	計	公立	私立	計	公立	私立	計	公立	私立	計	公立	私立	計	公立	私立	計	公立
昭44年	3,657	3,444	213	116	34	82	1,688	1,688	—	670	667	3	1,042	914	128	141	141
昭43年	3,575	3,388	187	99	35	64	1,705	1,705	—	687	685	2	946	825	121	138	138
前年との比較	82	56	26	17	△1	18	△17	△17	—	△17	△18	1	96	89	7	3	3

昭和45年版

## 茨 城 県 民 手 帳

メ切……

……10月末

予 約 募 集 中

定 価 1 冊 1 0 0 円

規 格 普通ポケット型

申 込 先 水戸市三の丸1-5-38

茨城県統計課内 茨城県統計協会

TEL 水戸 ☎ 8111 内線 217

配布予定 12月中